

---

香美市のよってたかってアンケート  
～第2期香美市教育振興基本計画の策定に向けて～  
【調査結果報告書】  
概要版

---

令和5年1月

# 目次

I 調査概要	1
1. 調査目的	1
2. 調査の実施について	1
3. 配布件数	1
4. 報告書の見方	1
III 住民調査の結果	2
1. 回答者について	2
2. 生涯学習(自主的な学習活動)について	3
3. インターネットの利用について	6
4. 公民館や市内の施設について	7
5. スポーツについて	9
6. 文化財について	10
7. 図書館について	12
8. 香美市の教育について	13
III 保護者調査の結果	16
1. 回答者について	16
2. 香美市の教育施策について	17
3. 回答者の子どもについて	20
4. 子育てについて	22
5. 教育について	23
6. 家庭でのお子さんとのかかわりについて	25
7. 教育と地域のかかわりについて	26
IV 小中学生調査の結果	28
1. 回答者について	28
2. 学校生活について	29
3. 家庭での生活について	32
4. 地域について	36

# I 調査概要

## 1. 調査目的

香美市における教育の基本的な方針と取組の方向性を示す「香美市教育振興基本計画」が令和5年度に計画期間が終了することから、新たに「第2期香美市教育振興基本計画」を策定することとなりました。

本調査は、新計画の策定にあたり、市民や小中学生とその保護者の教育に関する考えや意見を把握し、計画策定の基礎資料とするために実施しました。

## 2. 調査の実施について

	住民調査	保護者調査	小中学生調査
調査対象者	18歳以上の市民 2,000人	小学校1・5年生、 中学校2年生の保護者 <b>549人</b>	児童生徒(小学校4年生～ 中学校3年生) <b>1,028人</b>
調査期間	令和4年11月21日 ～令和4年12月9日	令和4年11月14日 ～令和4年11月28日	令和4年10月31日 ～令和4年11月11日
調査方法	郵送による配付、郵送 またはインターネット による回答	<b>学校経由での配付、</b> 郵送またはインターネット による回答	<b>学校経由での配付、</b> インターネットによる回答

## 3. 配布件数

	住民調査	保護者調査	小中学生調査
調査対象者数 (配布数)	2,000件	<b>549件</b>	<b>1,028件</b>
有効回収数	839件(843件)	255件(257件)	811件(811件)
有効回収率	42.0%(42.2%)	<b>46.4%(46.8%)</b>	<b>78.9%(78.9%)</b>

## 4. 報告書の見方

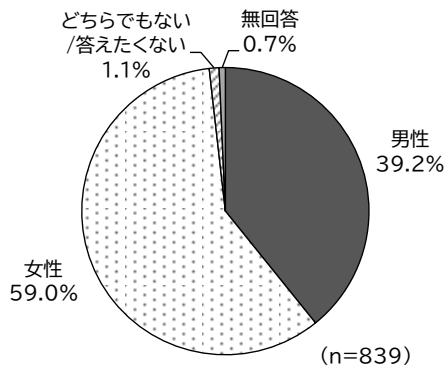
分析結果を見る際の留意点は以下の通りとなっています。

- (1) 「n」は「number」の略で、比率算出の母数です。
- (2) 単数回答の場合、本文および図表の数字に関しては、すべて小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記しています。このため、百分率の合計が100.0%とならない場合があります。

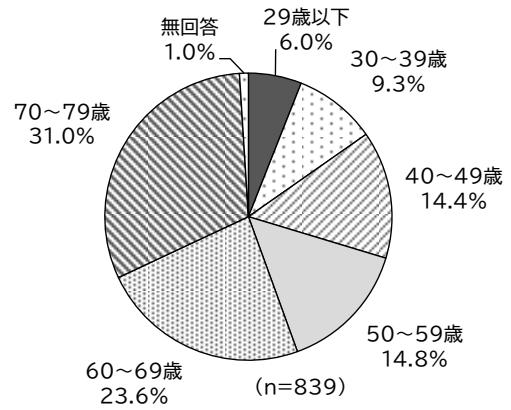
## II 住民調査の結果

### 1. 回答者について

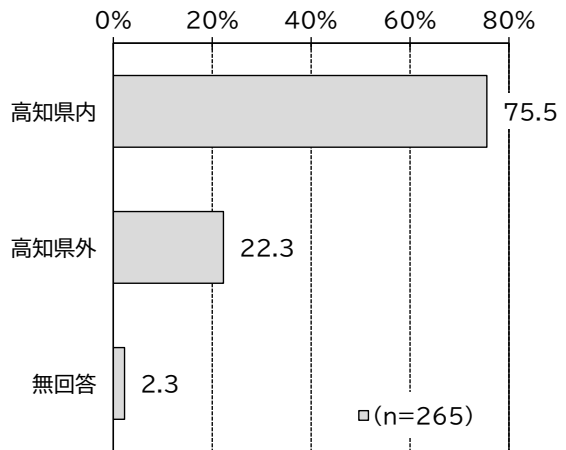
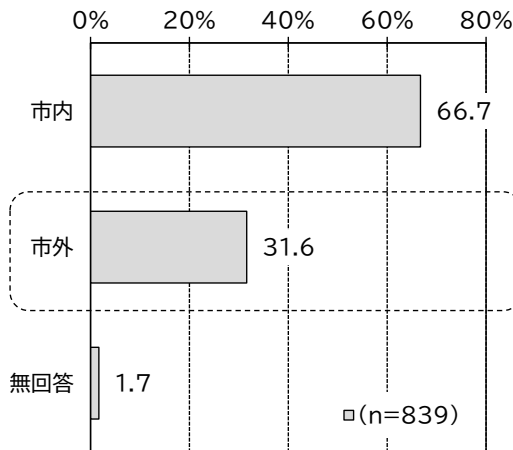
【性別】



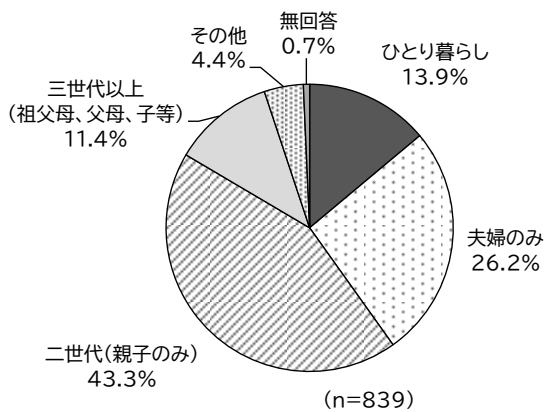
【年齢】



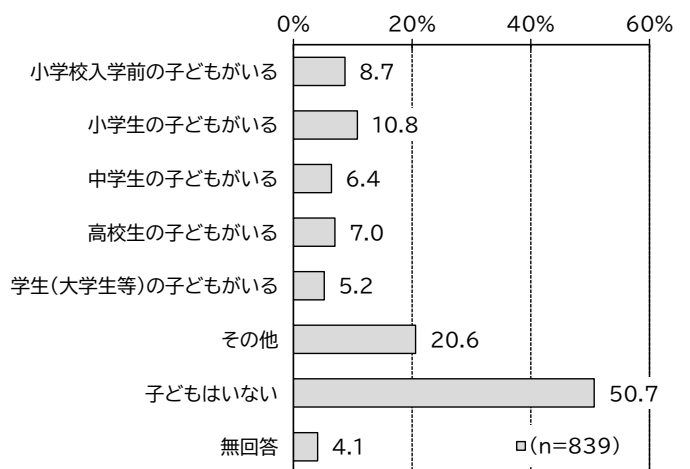
【出身地】



【家族構成】



【子どもの有無】

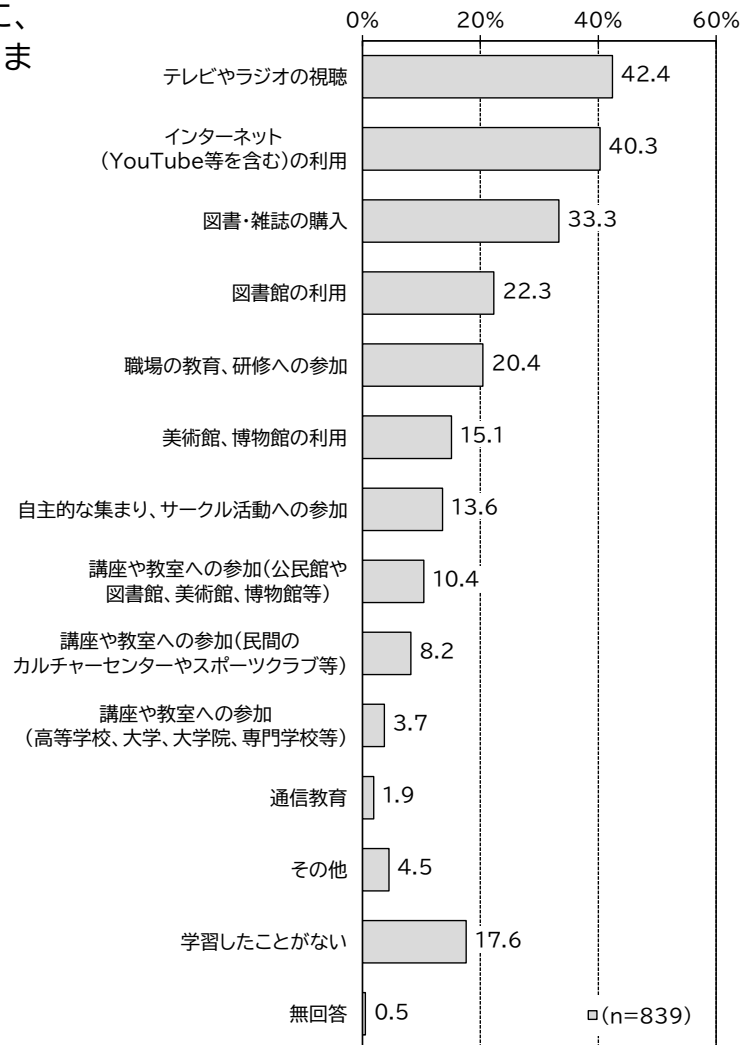


## 2. 生涯学習(自主的な学習活動)について

■問1 あなたは、この1年間くらいの間に、どのような方法で学習したことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

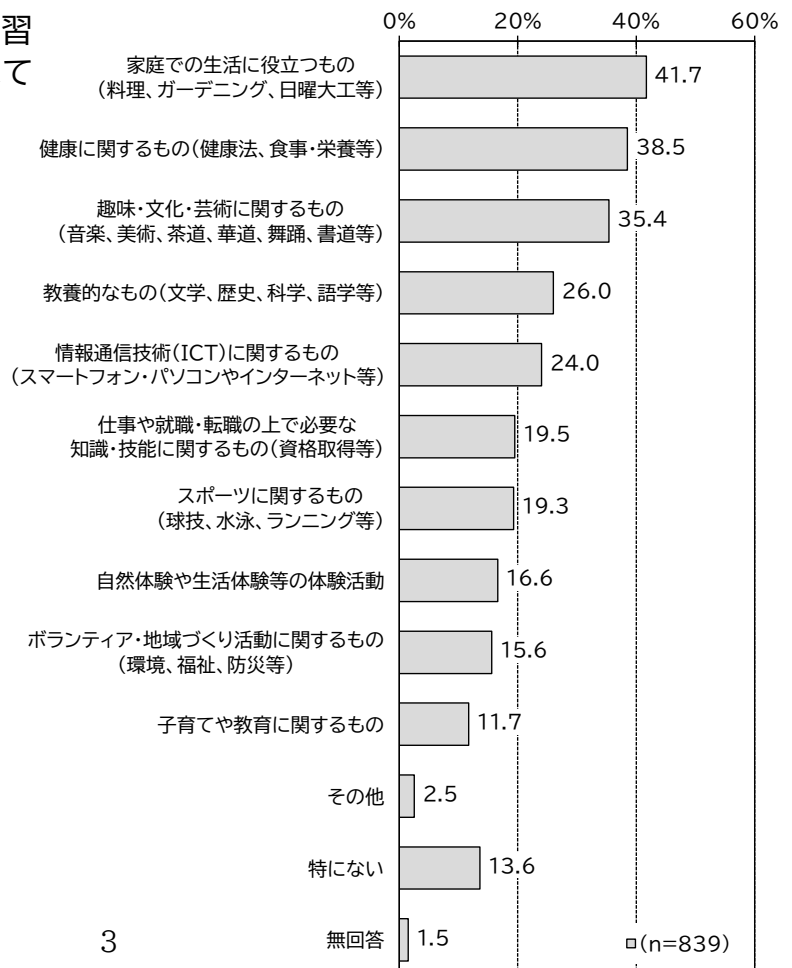
生涯学習の学習方法は、「テレビやラジオの視聴」と「インターネット(YouTube等を含む)の利用」が4割を超えて高くなっています。

生涯学習を学習したことがない人の理由は、「きっかけがない」が29.1%で最も高く、次いで「仕事が忙しくて時間がない」が27.7%、「特にない」が23.0%となっています。(問1-2・省略)



■問2 あなたが今後やってみたい学習はありますか。(あてはまるものすべてに○)

今後やってみたい学習は、「家庭での生活に役立つもの(料理、ガーデニング、日曜大工等)」、「健康に関するもの(健康法、食事・栄養等)」、「趣味・文化・芸術に関するもの(音楽、美術、茶道、華道、舞踊、書道等)」が上位にあがっています。

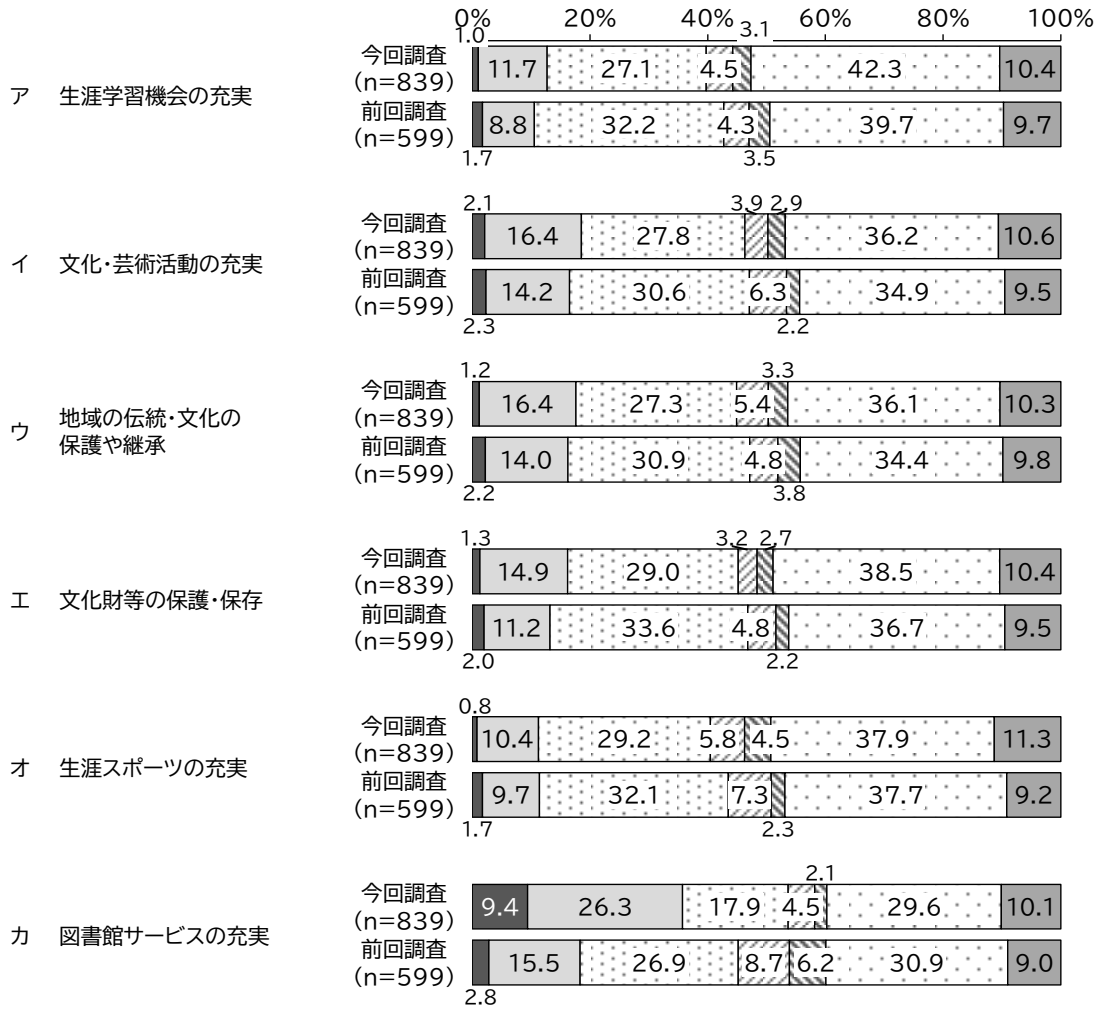


■問3 香美市における生涯学習環境の満足度と重要度について、どうお考えでしょうか。  
 (満足度・重要度について、ア～カのそれぞれの項目に1つずつ〇)

香美市における生涯学習環境の満足度と重要度について、「満足」と「まあ満足」を合わせた『満足』は、「カ 図書館サービスの充実」で3割台、それ以外の分野は1割台となっています。「非常に重要」と「重要」を合わせた『重要』は、いずれの分野も5～6割程度となっています。

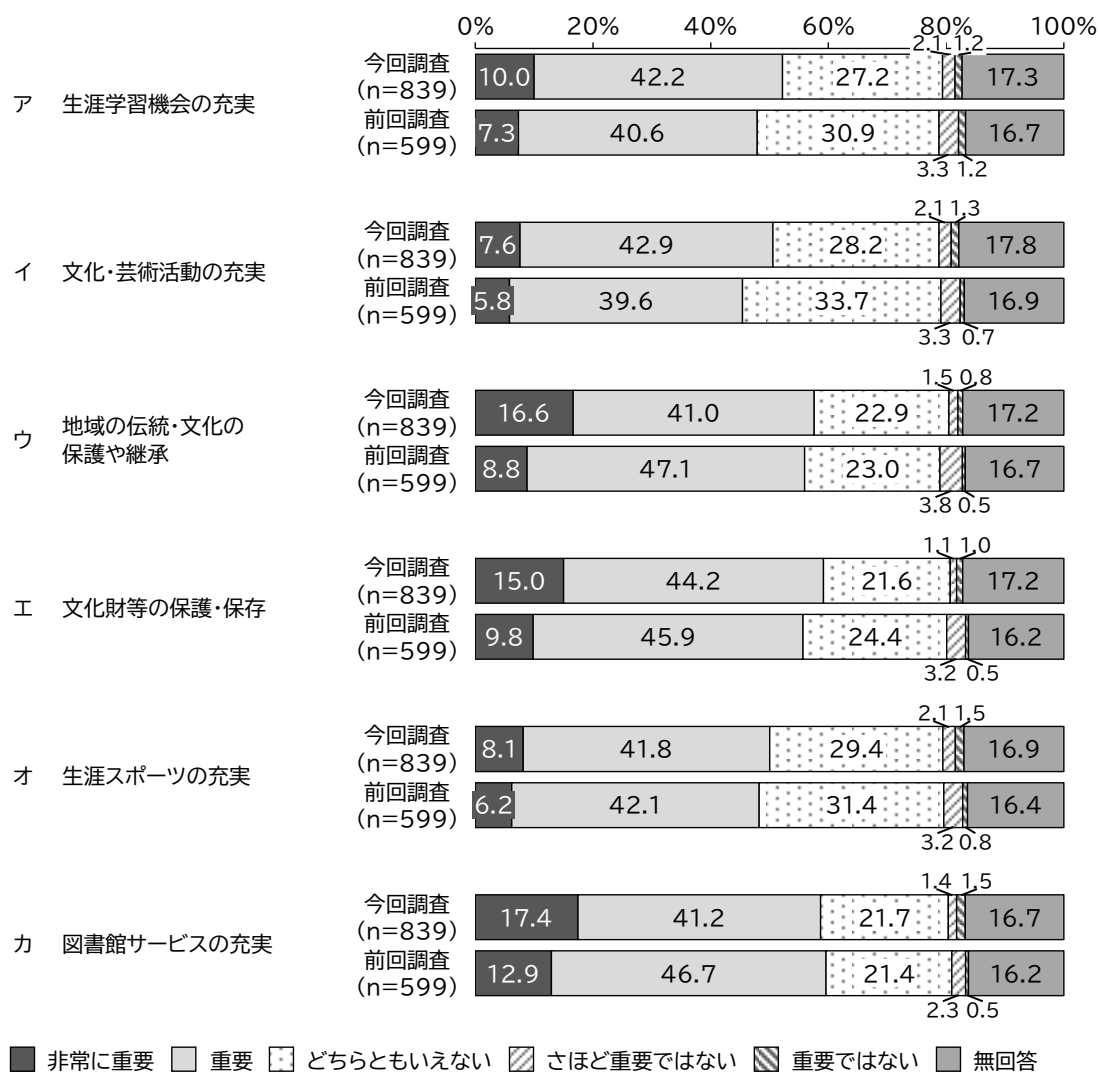
前回調査と比べると、「カ 図書館サービスの充実」の満足度で『満足』は、今回調査の方が17.4ポイント上回っています。

【満足度】



■ 満足 □ まあ満足 □ どちらともいえない □ やや不満 □ 不満 □ わからない □ 無回答

【重要度】



### 3. インターネットの利用について

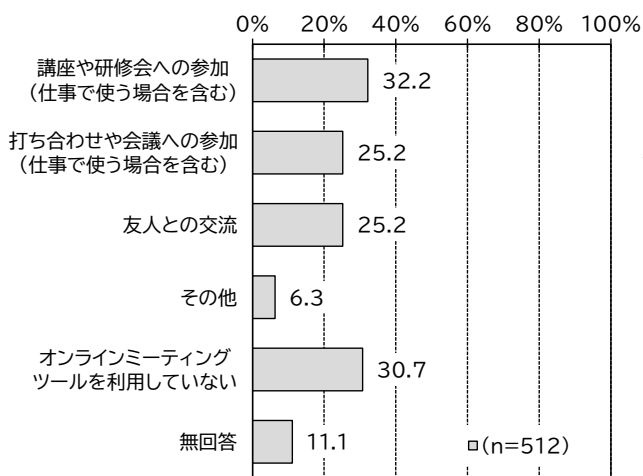
■問4-1 (問4で「1. 利用している」と答えた方に)それぞれのツールをどのように使っていますか。(あてはまるものすべてに○)

オンラインミーティングツール、YouTube、SNSを「利用している」は61.0%です。(問4・省略)

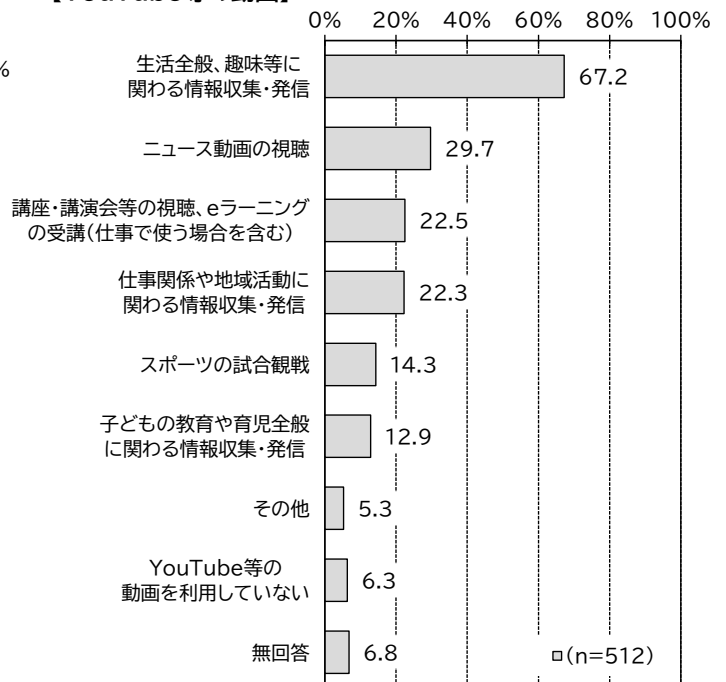
オンラインミーティングツールとSNS(Facebook、Instagram、Twitter等)は利用していない人が、それぞれ3割を超えています。利用している人では、SNS(LINE)の「家族や友人、仕事関係での連絡・交流」が突出して高くなっています。

オンラインミーティングツール、YouTube、SNSの操作・活用の講座への参加意向は、「関心がないので参加しない」が34.9%で最も高く、次いで「参加してみたい」が30.2%、「参加する必要がない」が27.9%となっています。(問5・省略)

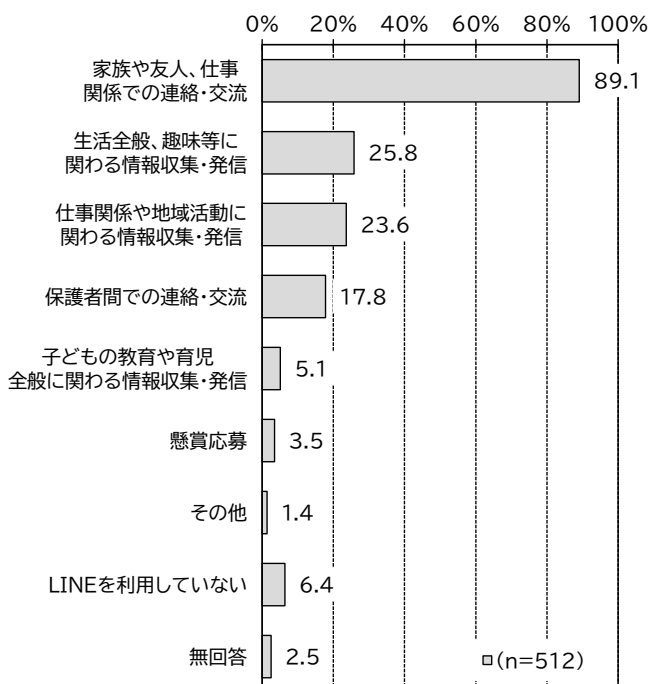
【オンラインミーティングツール】  
(Zoom、Google Meet、Skype等)



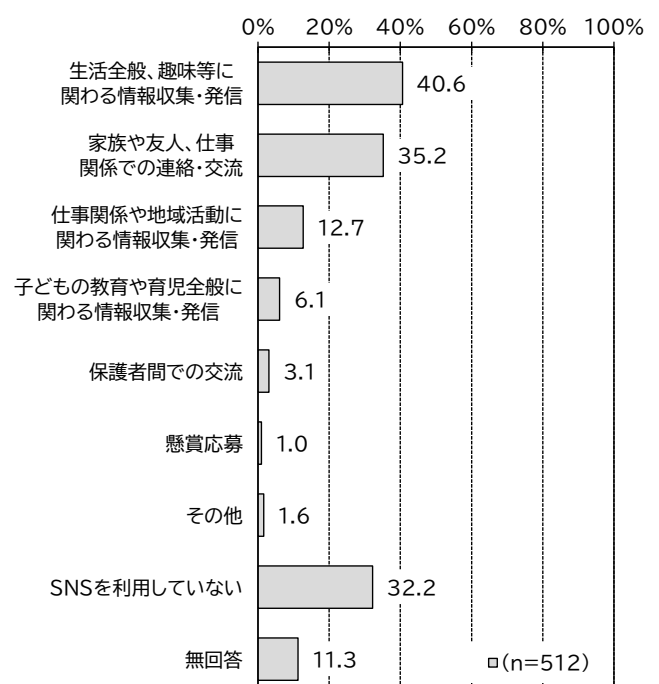
【YouTube等の動画】



【SNS】(LINE)



【SNS】(Facebook、Instagram、Twitter等)

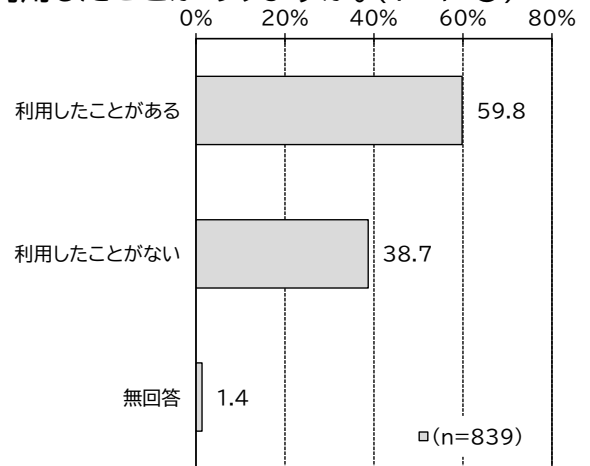




## 4. 公民館や市内の施設について

■問6 市内には、中央公民館と地区公民館(コミュニティセンターを含む)を併せて13の公民館がありますが、あなたはいずれかの公民館を利用したことがありますか。(1つに○)

市立公民館の利用の有無は、「利用したことがある」が59.8%、「利用したことがない」が38.7%となっています。

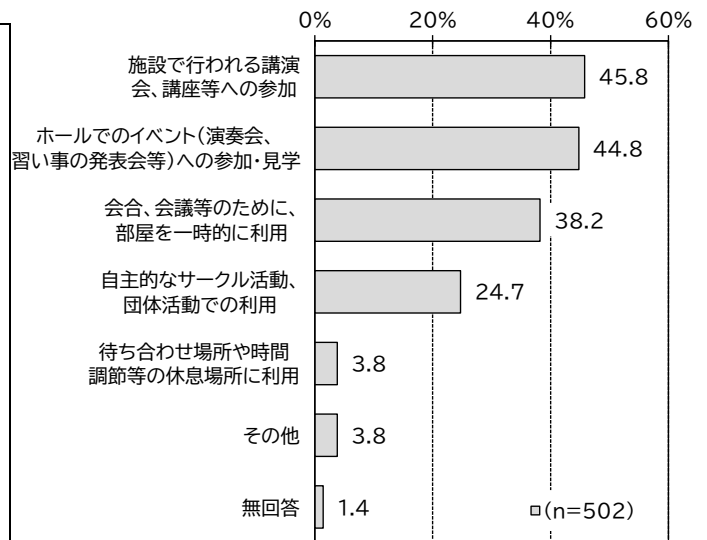


■問6-1 (市立公民館を「1. 利用したことがある」と答えた方に)どのようなことで利用されましたか。(あてはまるものすべてに○)

市立公民館の利用形態は、「施設で行われる講演会、講座等への参加」が45.8%で最も高く、次いで「ホールでのイベント(演奏会、習い事の発表会等)への参加・見学」が44.8%、「会合、会議等のために、部屋を一時的に利用」が38.2%となっています。

市立公民館の利用頻度は、「数年に1回程度」が最も高く、「数か月に1回程度」以下の人が約8割となっています。(問6-2・省略)

市立公民館を利用しない理由は、「利用する機会がないから」が5割を占めています。(問6-3・省略)

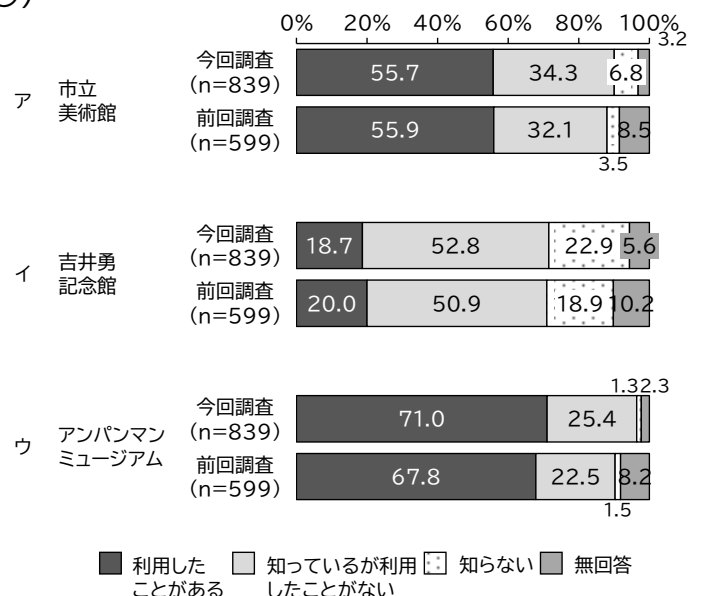


■問7 あなたは次の施設を知っていたり、利用したりしたことがありますか。(ア～ウのそれぞれの項目について、1つに○)

「ウ アンパンマンミュージアム」と「ア 市立美術館」は「利用したことがある」が5割を超えています。また、「イ 吉井勇記念館」は2割以下となっています。

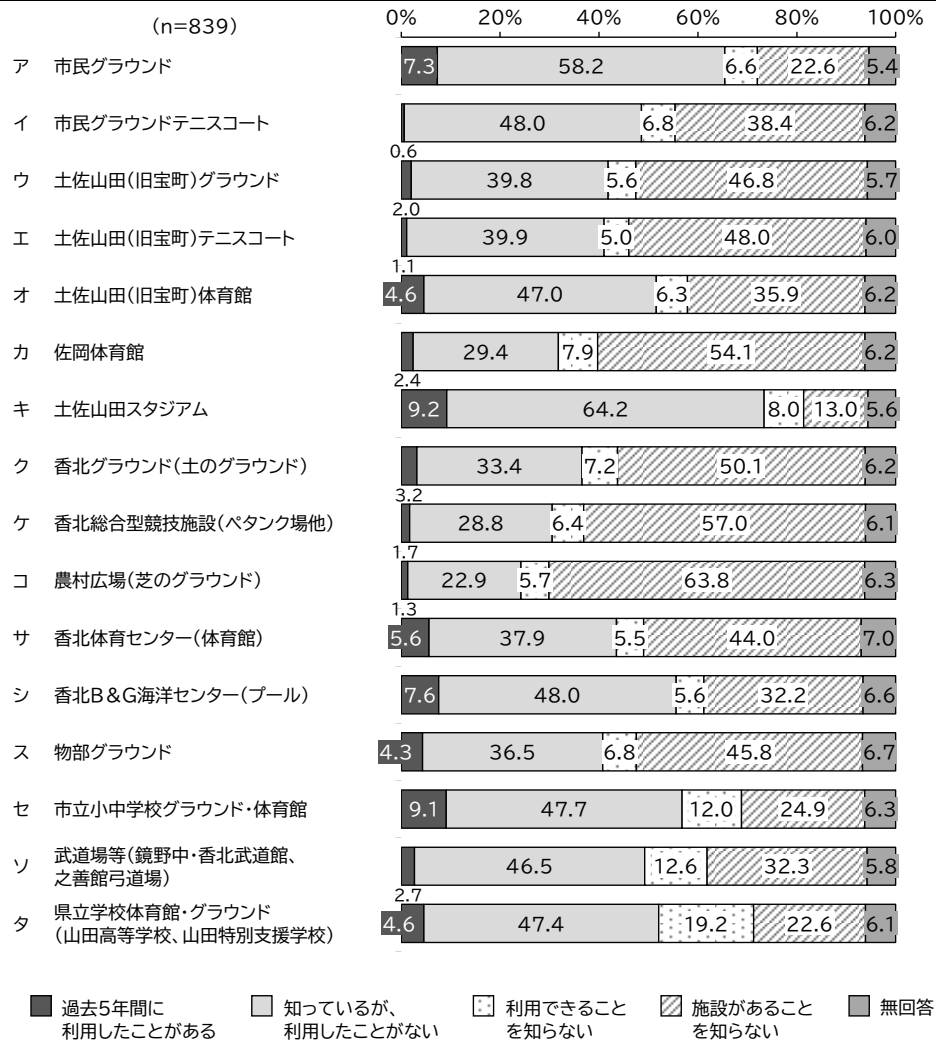
前回調査と比べると、「ウ アンパンマンミュージアム」がやや高くなっています。

利用しない理由では、いずれも「利用する機会がないから」が5割を超えています。(問7-1・省略)



■問8 香美市にある次の体育施設を知っていたり、利用したりしたことがありますか。  
(ア～タのそれぞれの項目について、1つに○)

香美市にある体育施設の認知度・利用の有無について、「過去5年間に利用したことがある」という回答が最も高い「キ 土佐山田スタジアム」でも1割以下で、すべての項目で「知っているが、利用したことがない」「利用できることを知らない」または「施設があることを知らない」が大半を占めています。



## 5. スポーツについて

### ■問9 あなたは1回30分以上の「軽く汗をかく運動」をどの程度していますか。(1つに○)

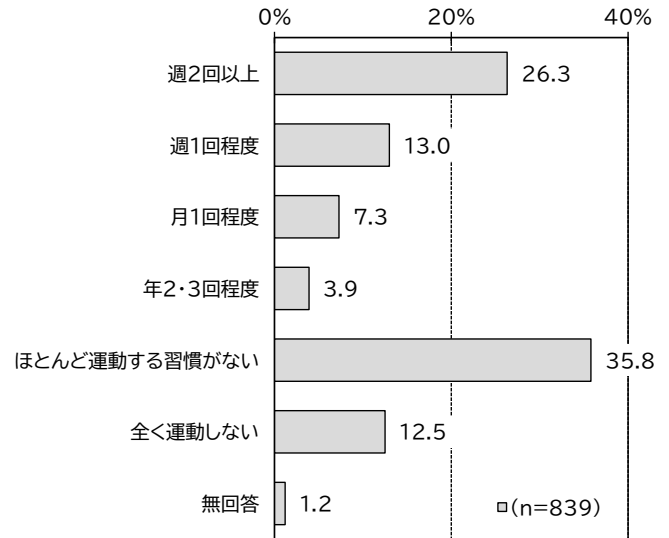
1回30分以上の運動(軽く汗をかく運動)の実施頻度は、「週1回程度」以上が39.3%で、「年2・3回程度」までを合わせても約5割にとどまっています。

継続期間は、「1年以上前から」が約8割となっています。「1年以上前から」「年2・3回程度」以上の運動をしている人は、回答者全体の約4割となります。(問9-1・省略)

運動しない理由は、「運動したいが時間的余裕がない」が最も高くなっていますが、「運動自体に興味はあるがきっかけがない(何をすれば良いかわからない)」が2割近くあります。(問9-2・省略)

(問9-2・省略)

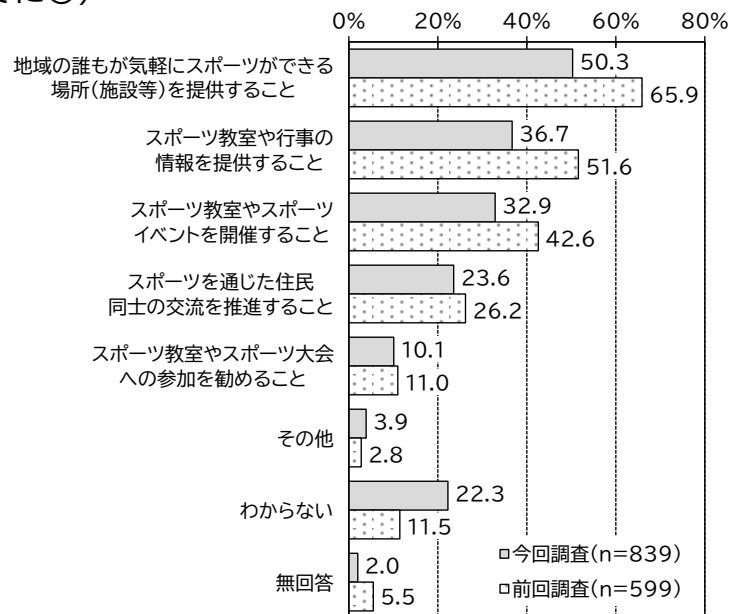
また、興味のある運動は、「簡単な体操(ストレッチ・軽体操・ラジオ体操・ヨガ等)」、「ウォーキング」が高くなっています。(問9-3・省略)



### ■問10 あなたは、香美市におけるスポーツの振興のために市がどのような支援をすると良いと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

スポーツの振興のためにあると良い支援は、「地域の誰もが気軽にスポーツができる場所(施設等)を提供すること」が50.3%で最も高くなっています。

前回調査と比べると、いずれの回答も下回っている一方で、「わからない」の割合が上昇しています。

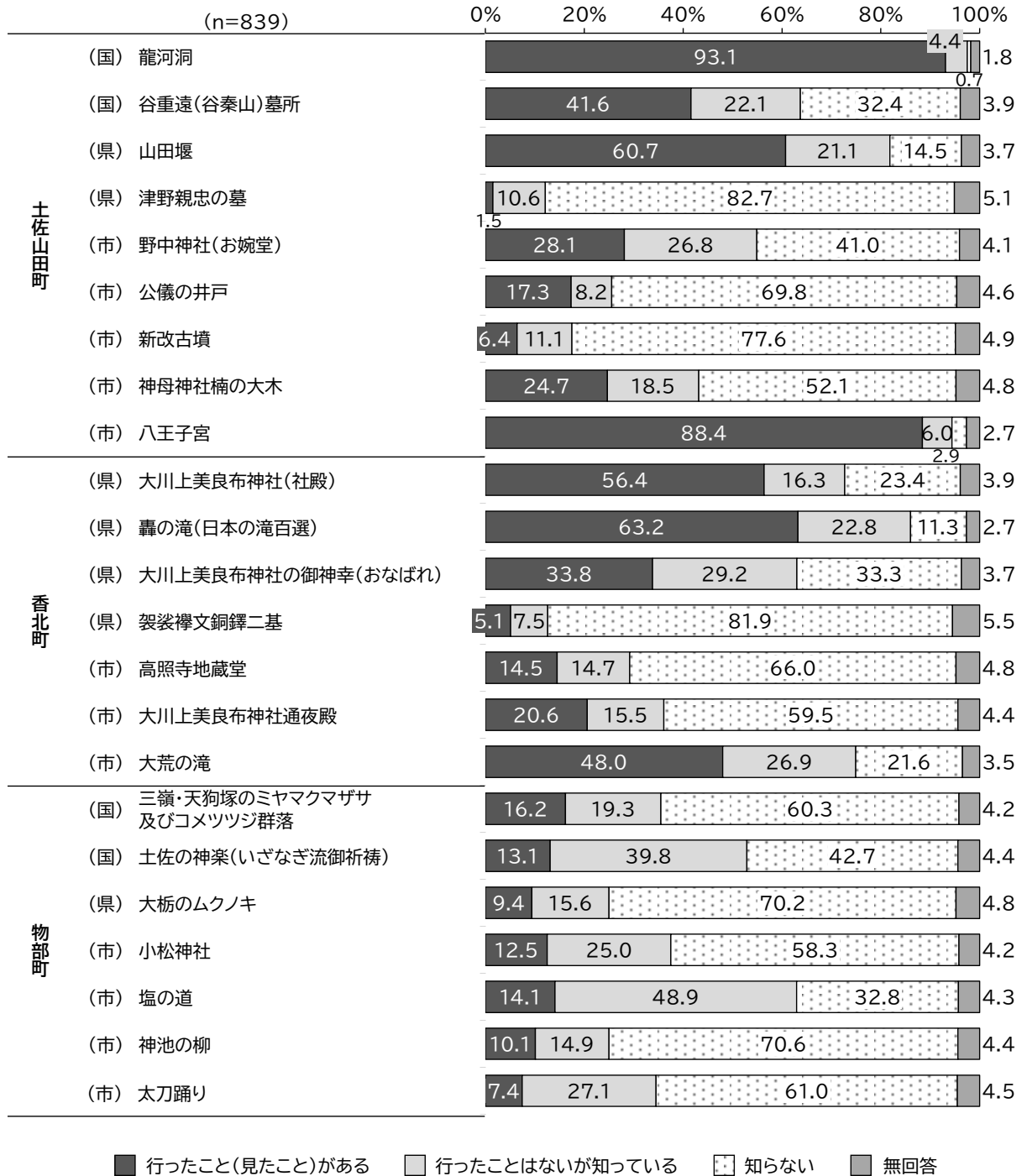


## 6. 文化財について

■問11 香美市の文化財(建造物・史跡・天然記念物・無形民俗)について、知っていたり、行ったこと(見たこと)がありますか。(それぞれの文化財について、1つに○)

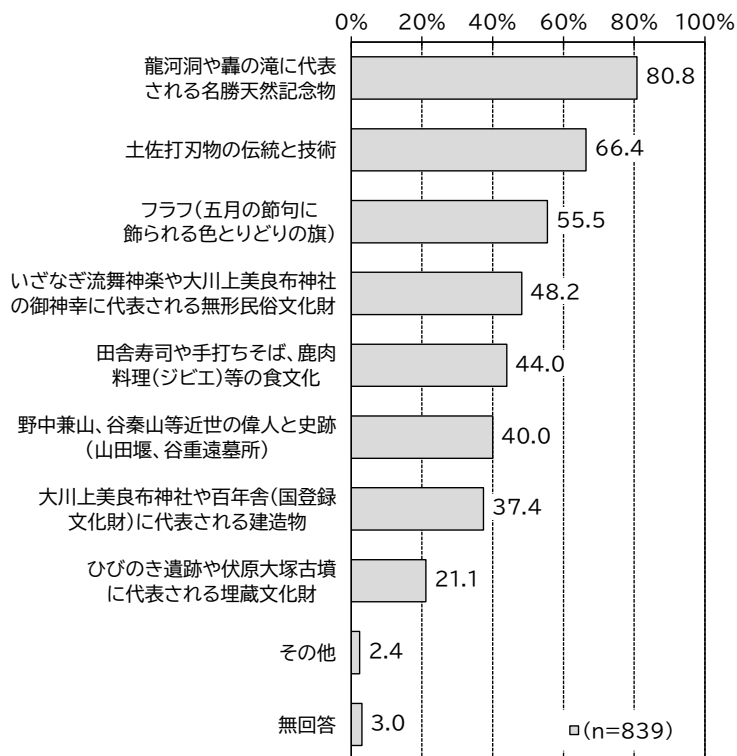
香美市の文化財(建造物・史跡・天然記念物・無形民俗)の認知度・訪問歴は、「行ったこと(見たこと)がある」が高い順に「龍河洞」(93.1%)、「八王子宮」(88.4%)、「轟の滝(日本の滝百選)」(63.2%)、「山田堰」(60.7%)、「大川上美良布神社(社殿)」(56.4%)となっています。

一方で「知らない」は、「津野親忠の墓」、「袈裟襷文銅鐸二基」が8割を超えています。



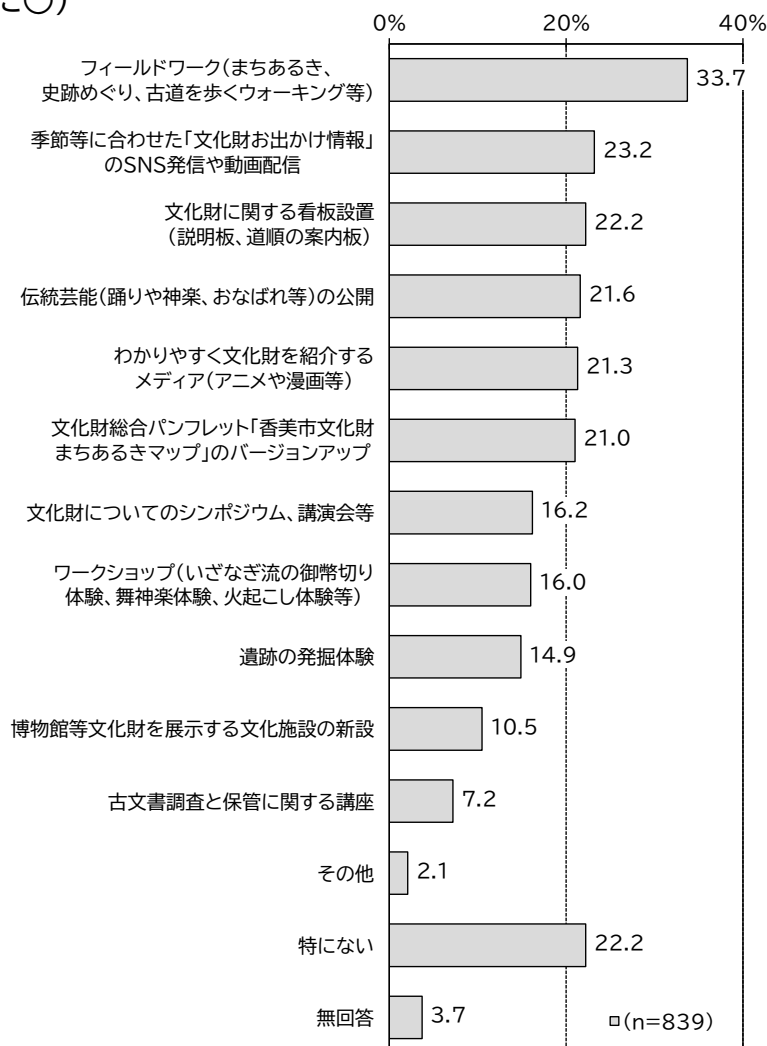
■問12 あなたが香美市のシンボルとして保存活用したら良いと思うものは、次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)

香美市のシンボルとして保存活用したら良いと思うものは、「龍河洞や轟の滝に代表される名勝天然記念物」、「土佐打刃物の伝統と技術」、「フラフ(五月の節句に飾られる色とりどりの旗)」の順に高くなっています。



■問13 文化財を活用するための香美市の取組の中で、参加したい、見てみたいと思うものは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

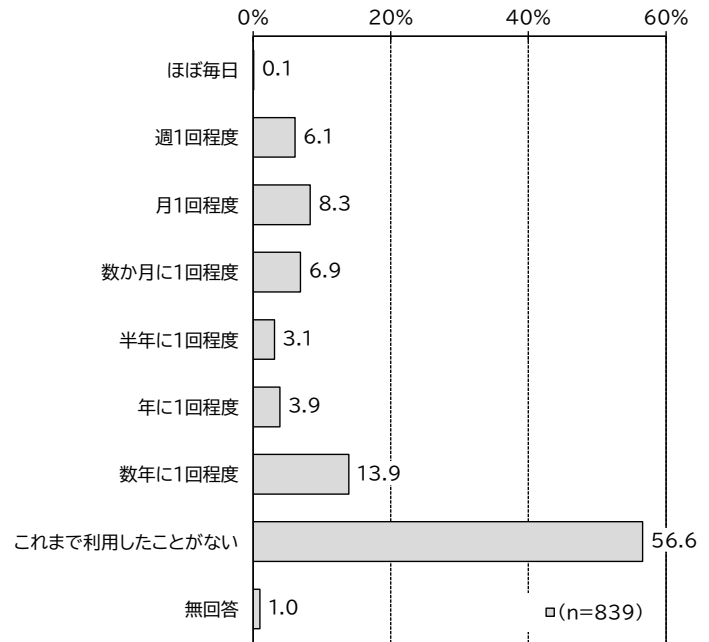
文化財を次世代に伝えていくことの重要性は約9割の人が肯定していますが(問14・省略)、文化財を活用するための香美市の取組の中で、参加したいものは、「フィールドワーク(まちあるき、史跡めぐり、古道を歩くウォーキング等)」が33.7%で最も高い一方で、「特にない」が2割を超えています。



## 7. 図書館について

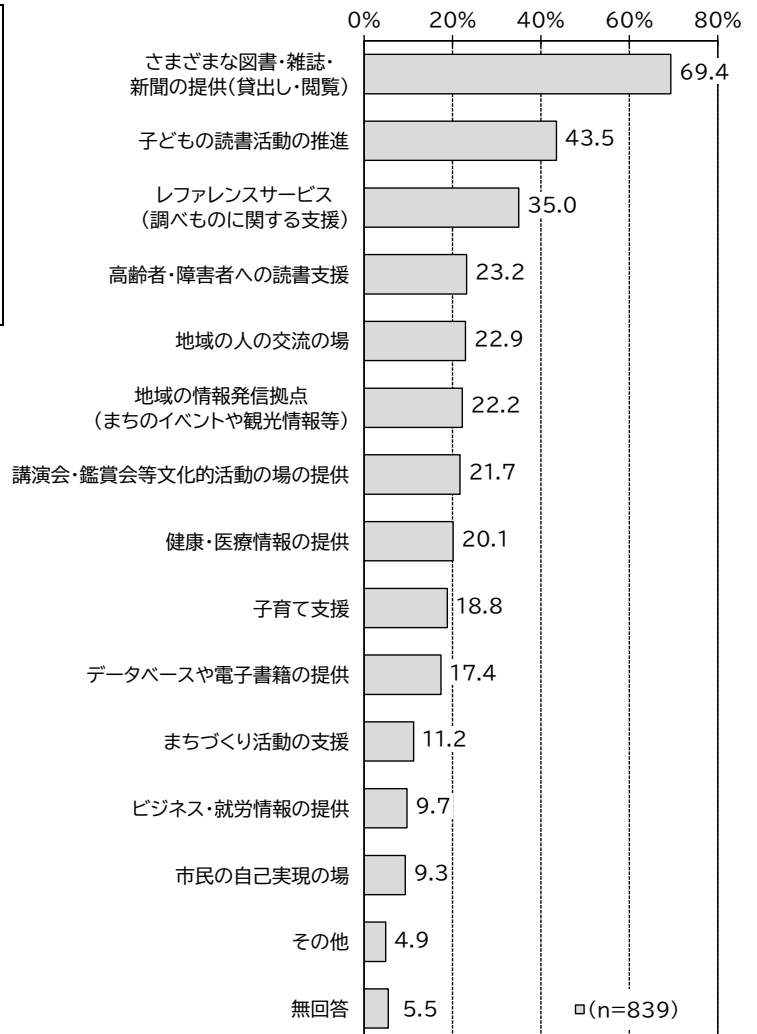
■問15 あなたの市立図書館(かみーる・香北分館・物部分館)の利用頻度はどのくらいですか。(1つに○)

市立図書館の利用頻度は、「これまで利用したことがない」が56.6%で最も高く、「数か月に1回程度」以上が21.4%、「半年に1回程度」と「年に1回程度」をあわせて7.0%、「数年に1回程度」が13.9%となっています。



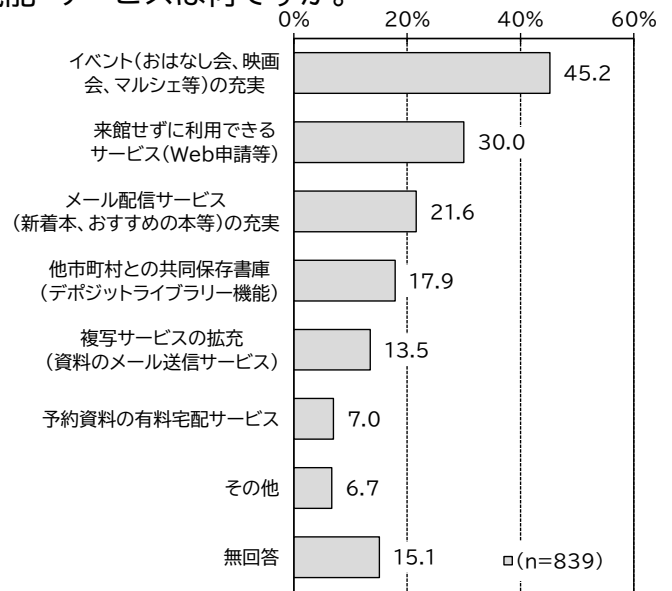
■問16 あなたは図書館にどのような役割を望まれますか。(あてはまるものすべてに○)

図書館に望む役割は、「さまざまな図書・雑誌・新聞の提供(貸出し・閲覧)」が69.4%で最も高く、次いで「子どもの読書活動の推進」が43.5%、「レファレンスサービス(調べものに関する支援)」が35.0%となっています。



■問17 今後、図書館で充実すべきと考える機能・サービスは何ですか。  
(あてはまるものすべてに○)

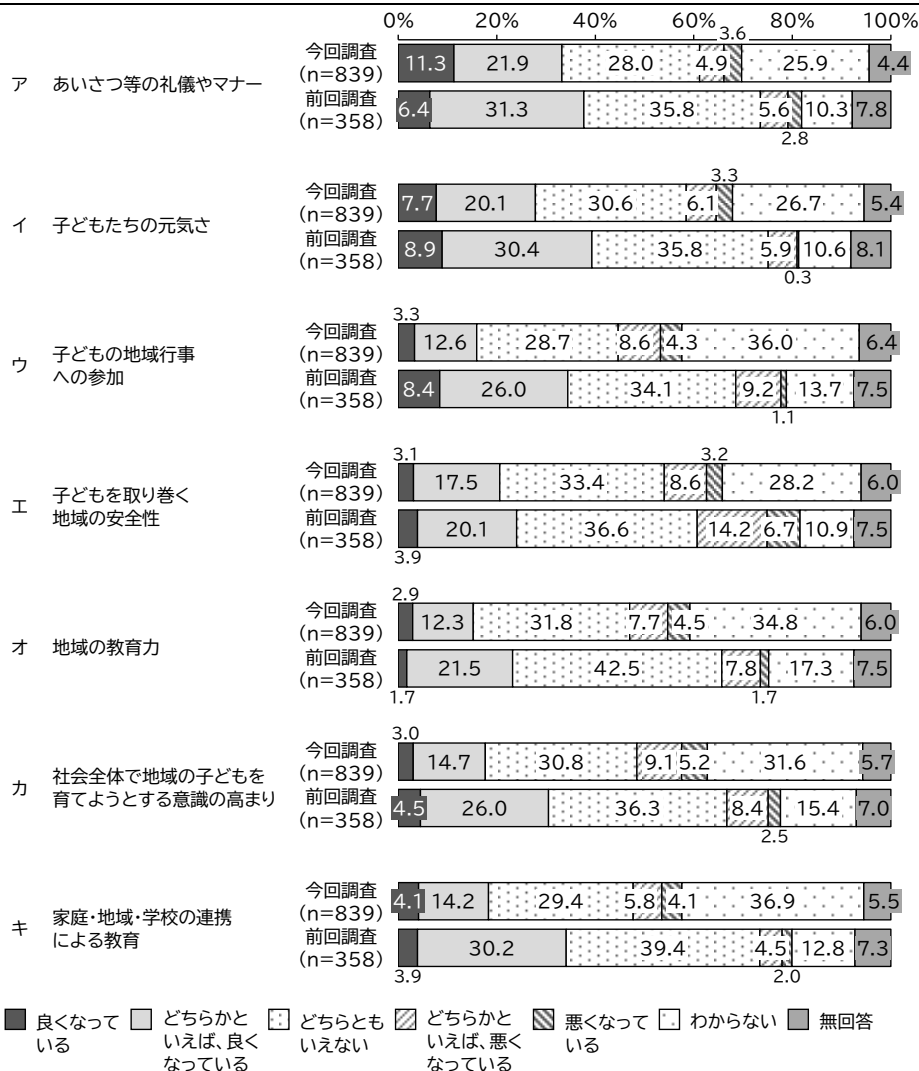
今後、図書館で充実すべきと考える機能・サービスは、「イベント(おはなし会、映画会、マルシェ等)の充実」に次いで「来館せずに利用できるサービス(Web申請等)」が高くなっています。



8. 香美市の教育について

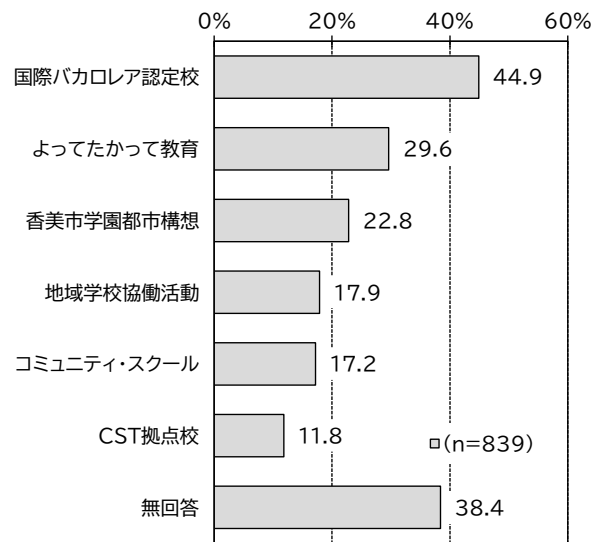
■問18 香美市の子どもたちを見て、ここ5年くらいの間に香美市の教育や子どもを取り巻く環境はどのようになってきていると感じますか。(ア～キのそれぞれの項目について、1つに○)

香美市の教育や子どもを取り巻く環境に対して、「良くなっている」と「どちらかといえば、良くなっている」を合わせた『良くなっている』は、「ア あいさつ等の礼儀やマナー」、「イ 子どもたちの元気さ」が他の項目より高くなっています。いずれの項目も前回調査を下回っています。



■問19 あなたは、次のような香美市の教育の取組について知っていますか。  
(あてはまるものすべてに○)

香美市の教育の取組の認知度は、「国際バカロレア認定校」が44.9%で最も高く、「よってたかって教育」は約3割にとどまっています。



■問20 県立山田高等学校について、地域の高等学校として愛着はありますか。(1つに○)

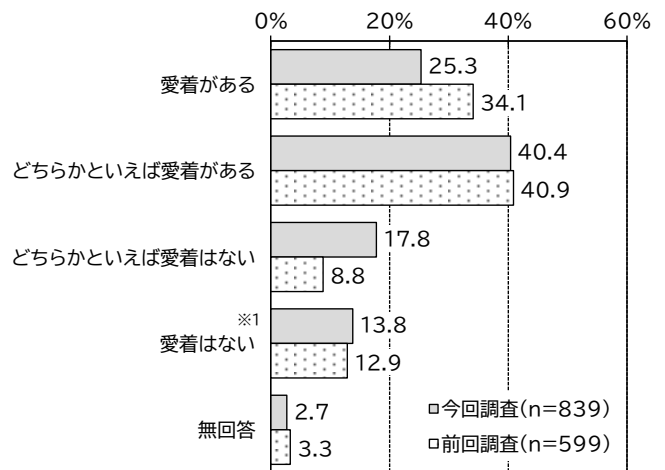
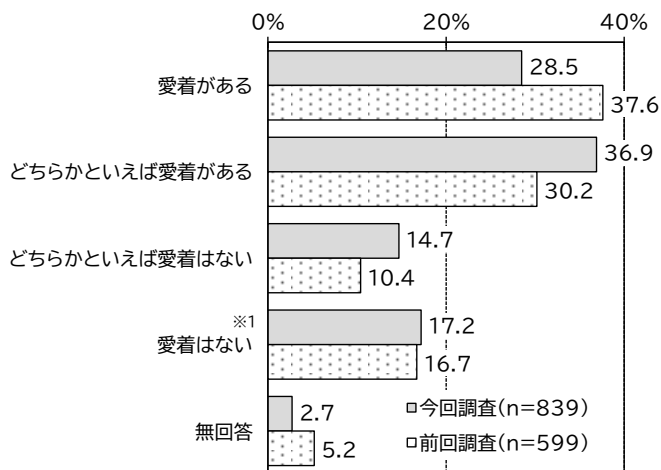
■問21 高知工科大学について、地域の大学として愛着はありますか。(1つに○)

県立山田高等学校への愛着は、「愛着がある」と「どちらかといえば愛着がある」を合わせた『愛着がある』が65.4%で、前回調査と比べると2.4ポイント下回っています。「愛着がある」の低下が大きくなっています。

高知工科大学に対しては、『愛着がある』が65.7%で、前回調査と比べると9.3ポイント下回っています。県立山田高等学校と同様に「愛着がある」の低下が大きくなっています。

【県立山田高等学校】

【高知工科大学】

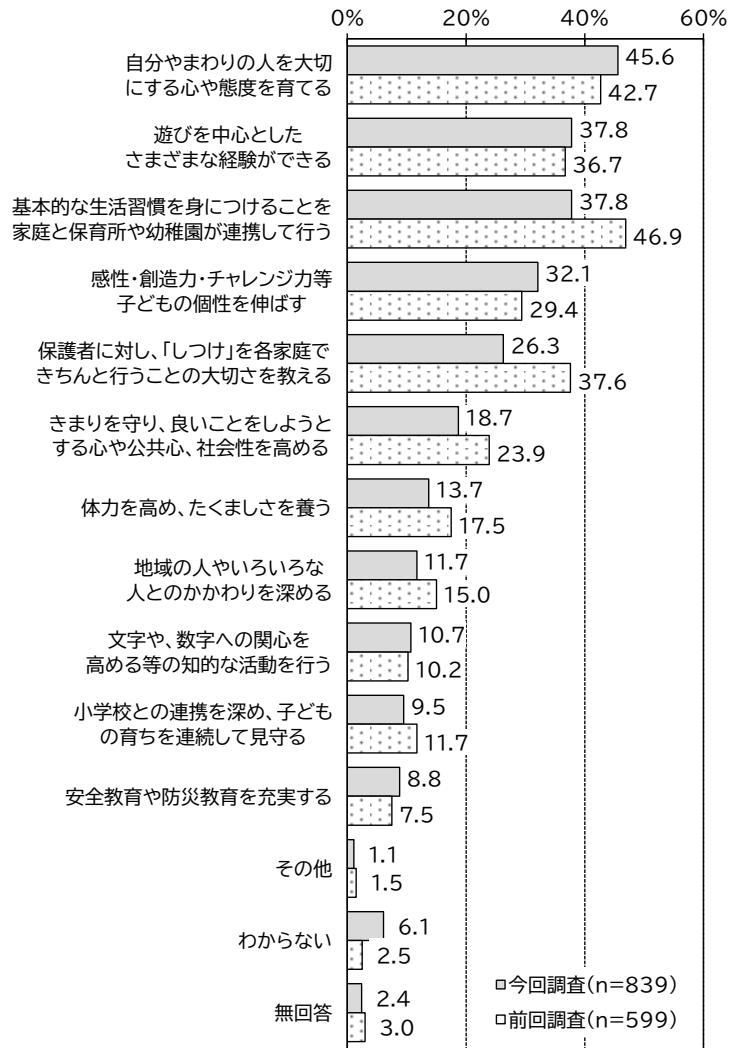


※1 前回調査の選択肢は「あまり愛着はない」



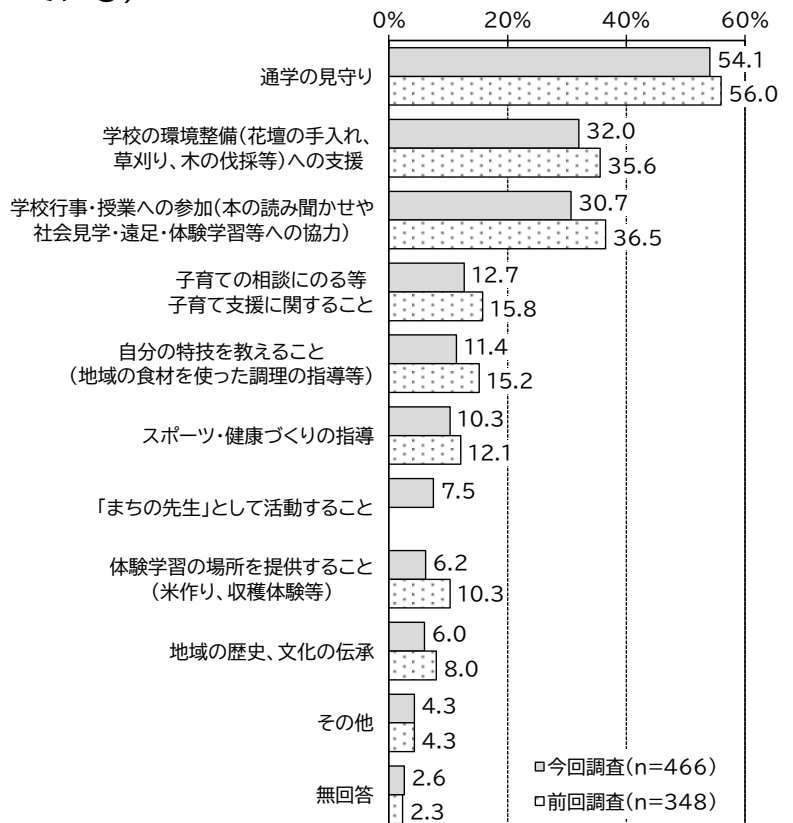
■問22 幼児教育(小学校入学前までの教育)において、これからどのようなことに力を入れてほしいと思いますか。(3つまで○)

幼児教育において、これから力を入れてほしいことは、「自分やまわりの人を大切に  
する心や態度を育てる」が45.6%で最も  
高く、次いで「遊びを中心としたさまざ  
まな経験ができる」と「基本的な生活習慣を身に  
つけることを家庭と保育所や幼稚園が連携  
して行う」がともに37.8%となっています。  
前回調査と比べると、「保護者に対し、「し  
つけ」を各家庭できちんとして行うことの大切  
さを教える」は11.3ポイント下回っています。



■問23-1 (問23で「1. はい」と答えた方に)あなたが教育に協力できること・したいことは  
次のどれですか。(あてはまるものすべてに○)

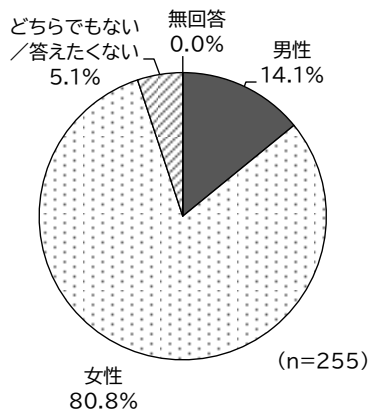
地域教育に協力意向がある人は、  
55.5%ですが、前回調査をやや下回っ  
ています。(問23・省略)  
協力できること・したいことでは「通学  
の見守り」が最も高く5割を超えていま  
す。  
協力したいと思わない理由は、「仕事  
が忙しくて時間がない」、「体力・健康に自  
信がない」が約3割で高くなっているもの  
の、「どのような協力が必要なのか情報が  
ない、または情報の入手方法がわから  
ない」が22.4%となっています。  
(問23-2・省略)



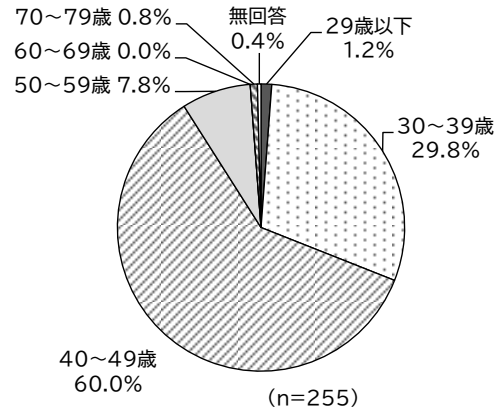
### Ⅲ 保護者調査の結果

#### 1. 回答者について

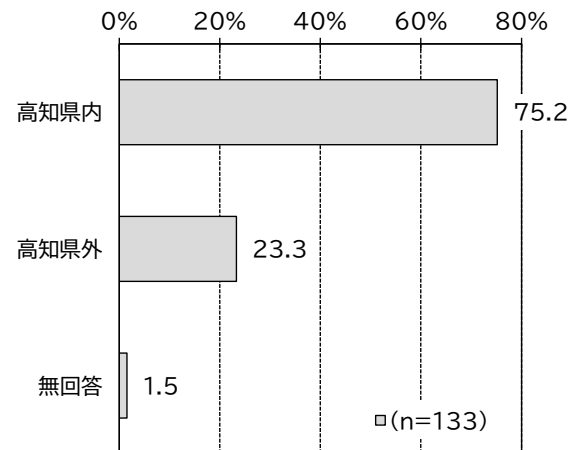
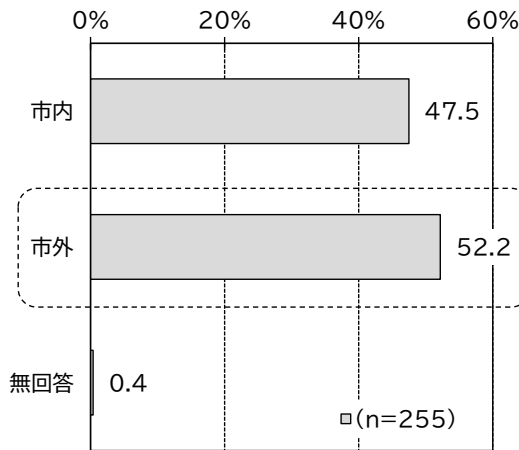
【性別】



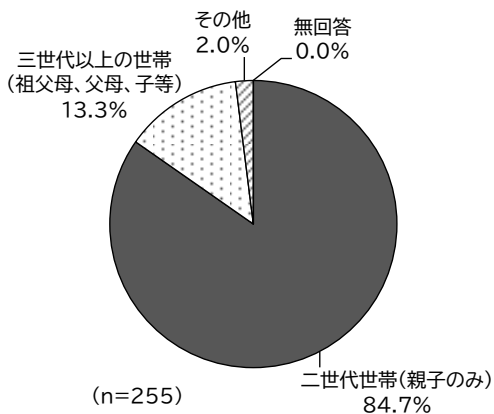
【年齢】



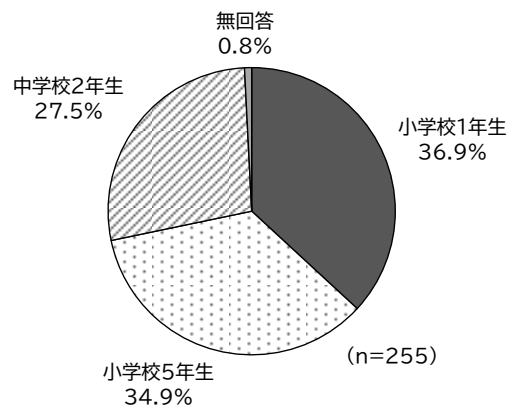
【出身地】



【家族構成】



【子どもの年齢】

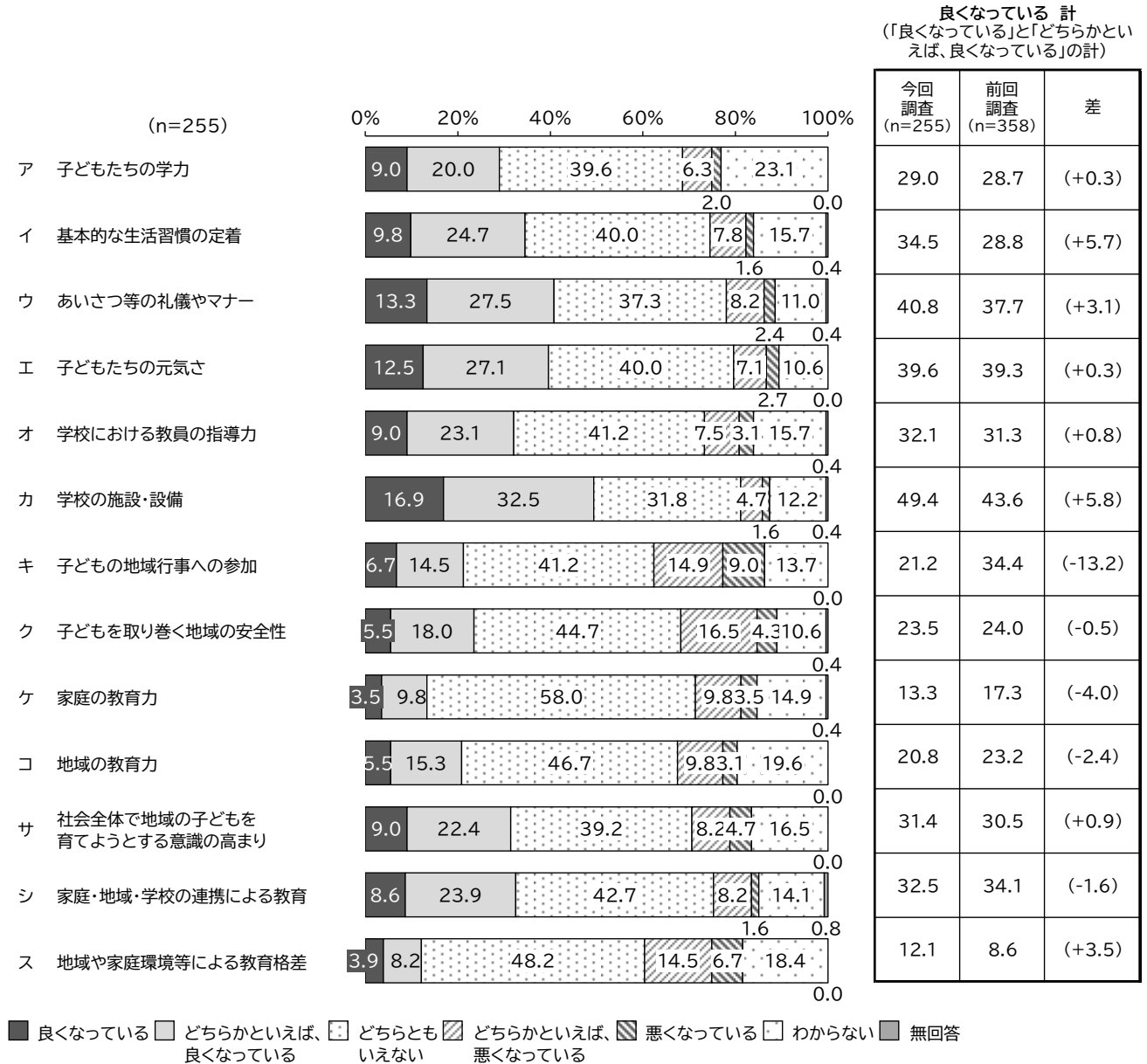


オンラインミーティングツール、YouTube、SNSを利用している人は83.9%で、そのうち93.0%がSNS(LINE)を「家族や友人、仕事関係での連絡・交流」で利用しています。(F7、F7-1・省略)

## 2. 香美市の教育施策について

■問1 香美市の子どもたちを見て、ここ5年くらいの間には香美市の教育や子どもを取り巻く環境はどのようになってきていると感じますか。  
(ア～スのそれぞれの項目について、1つに○)

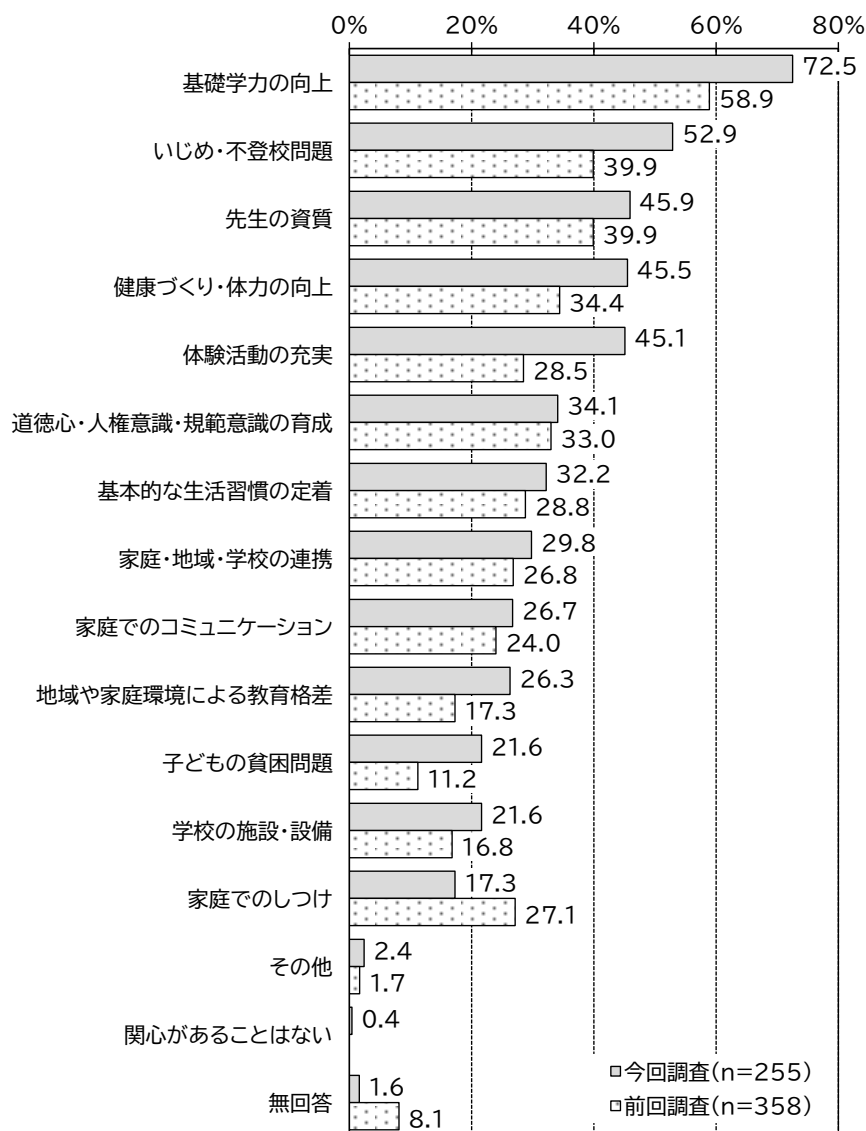
香美市の教育や子どもを取り巻く環境の評価を前回調査と比べると、「イ 基本的な生活習慣の定着」と「カ 学校の施設・設備」で『良くなっている』(「良くなっている」「どちらかといえば、良くなっている」の計)は約6ポイント上回っているものの、「キ 子どもの地域行事への参加」では、13.2ポイント下回っています。



■問2 香美市の子どもへの教育に関連して、現在、特に関心があることを教えてください。  
 (あてはまるものすべてに○)

子どもへの教育に関連して、特に関心があることは、「基礎学力の向上」が72.5%で最も高く、次いで「いじめ・不登校問題」が52.9%、「先生の資質」が45.9%、「健康づくり・体力の向上」が45.5%、「体験活動の充実」が45.1%となっています。

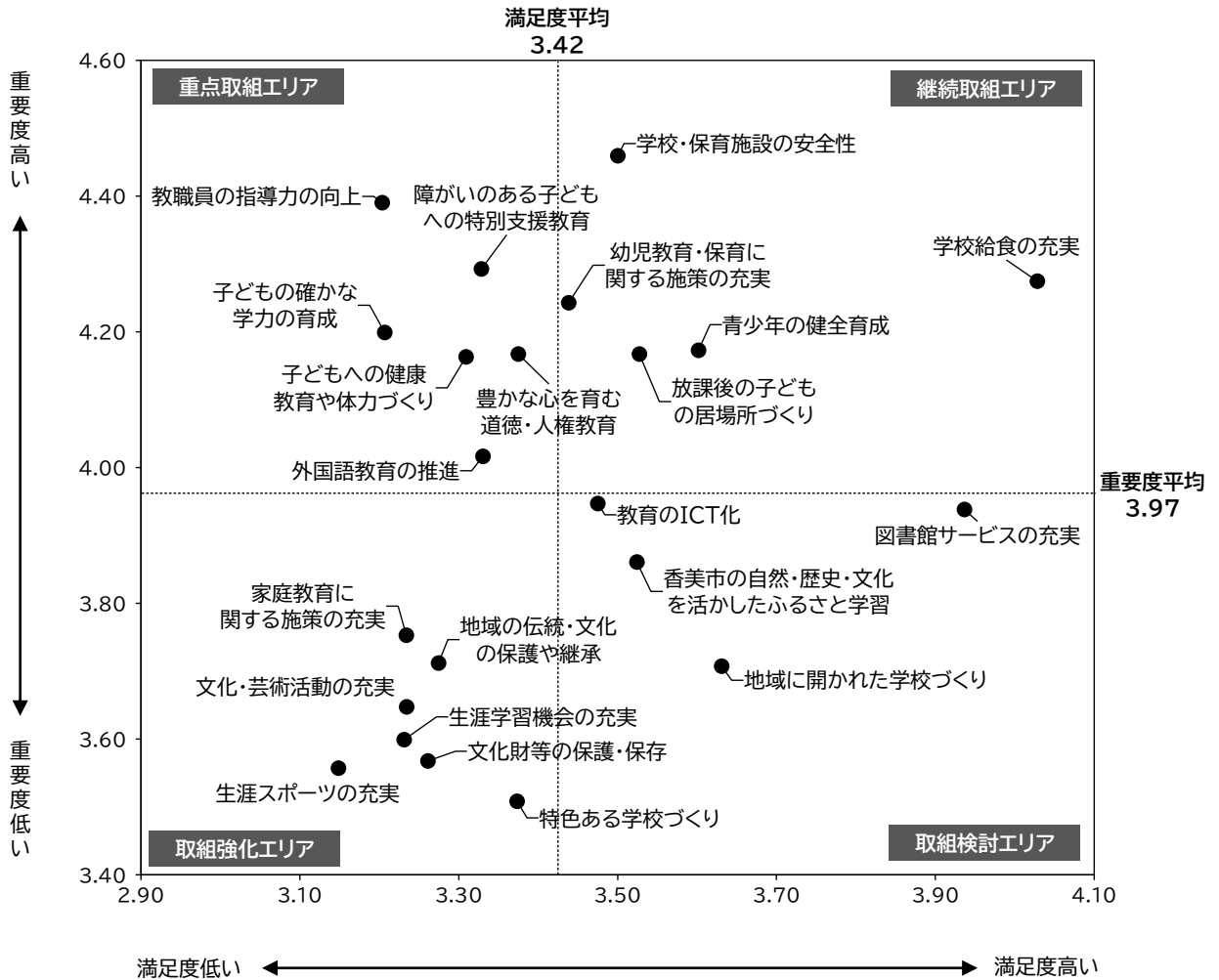
前回調査と比べると、「体験活動の充実」は16.6ポイント上回っている一方、「家庭でのしつけ」は9.8ポイント下回っています。



■問3 香美市における教育施策の満足度と重要度について、どうお考えでしょうか。  
 (満足度・重要度について、ア～ニそれぞれの項目に1つずつ〇)

満足度と重要度をポートフォリオ分析でみると、優先して充実が求められている「重点取組エリア」には、「コ 教職員の指導力の向上」を含む6項目が該当します。  
 ※回答選択肢を「満足」「非常に重要」=5点、「まあ満足」「重要」=4点、「どちらともいえない」=3点、「やや不満」「さほど重要ではない」=2点、「不満」「重要ではない」=1点として点数化

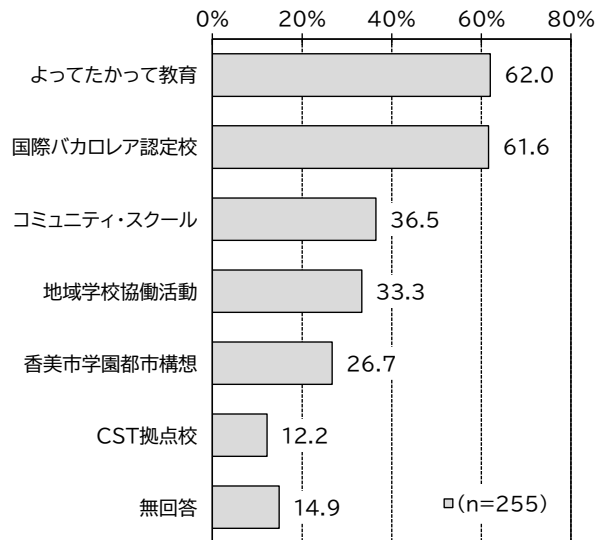
【ポートフォリオ分析】



エリア	説明
重点取組エリア	重要度が高いにも関わらず、満足度が低く、優先して充実が求められている項目
継続取組エリア	満足度も重要度も高いため、継続して充実する必要がある項目
取組強化エリア	満足度は低いものの重要度も低いため、他の項目の優先順位を勘案しながら、満足度を向上していくべき項目
取組検討エリア	満足度は高く、重要度が低いため、今後場合によっては満足度の低い他の項目へ優先順位をシフトしていくことを検討する必要がある項目

■問4 あなたは、次のような香美市の教育の取組について知っていますか。  
(あてはまるものすべてに○)

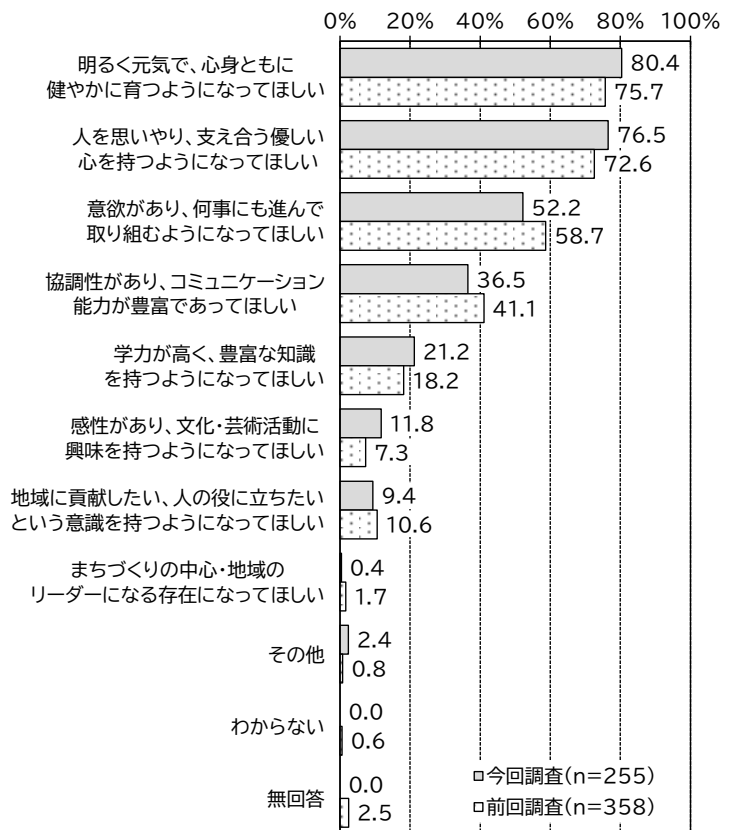
香美市の教育の取組の認知度は、「よってたかって教育」が62.0%で最も高く、次いで「国際バカロレア認定校」が61.6%、「コミュニティ・スクール」が36.5%、「地域学校協働活動」が33.3%となっています。



3. 回答者の子どもについて

■問5 お子さんは、どのように育ててほしいと思いますか。(3つまで○)

子どもにどのように育ててほしいかは、「明るく元気で、心身ともに健やかに育つようになってほしい」が80.4%で最も高く、次いで「人を思いやり、支え合う優しい心を持つようになってほしい」が76.5%、「意欲があり、何事にも進んで取り組むようになってほしい」が52.2%となっています。  
前回調査と比べると、「意欲があり、何事にも進んで取り組むようになってほしい」は6.5ポイント下回っています。

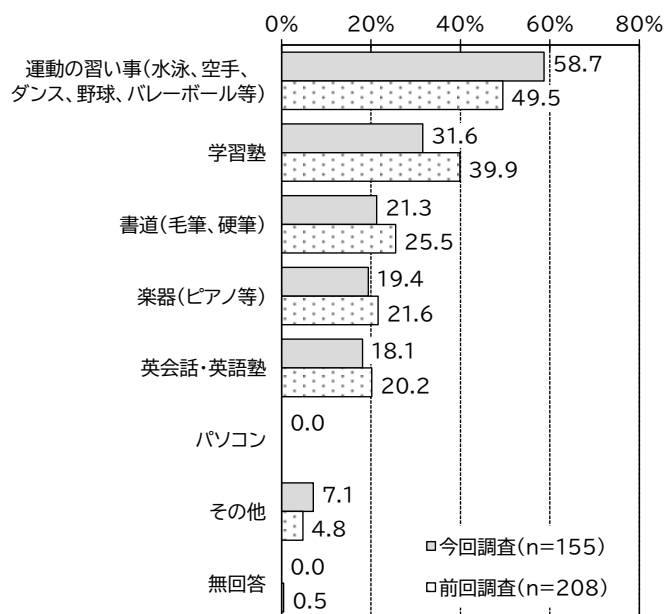


■問6-1 (問6で「1. はい」と答えた方に)それはどのような習い事ですか。  
(あてはまるものすべてに○)

子どもが習い事をしている割合は60.8%で、今回調査と前回調査で大きな差はありません。(問6・省略)

子どもの習い事は、「運動の習い事」が最も高く、次いで「学習塾」となっています。前回調査と比べて、「運動の習い事」が高く、「学習塾」は低くなっています。

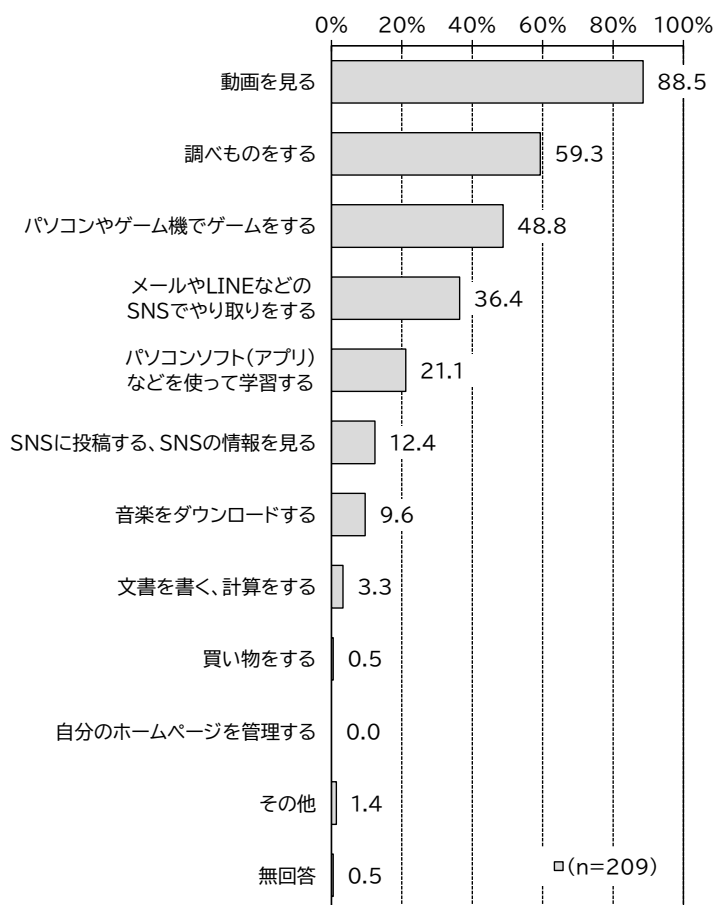
子どもに習い事をさせる理由は、「本人が行きたがったから」、「教育、能力向上のため」が6割を超えています。前回調査と比べると、「本人が行きたがったから」は12.1ポイント上回っています。(問6-2・省略)



■問8-1 (問8で「1. 利用している」と答えた方に)インターネットを利用して何をしていますか。(あてはまるものすべてに○)

子どもがインターネット利用しているのは82.0%で(問8・省略)、その利用形態は、「動画を見る」が88.5%で最も高く、次いで「調べものをする」が59.3%、「パソコンやゲーム機でゲームをする」が48.8%となっています。

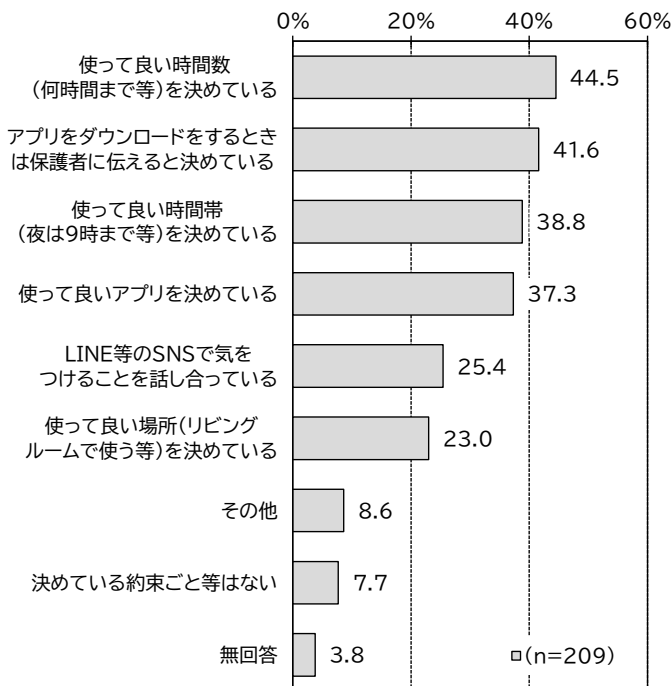
子どもがメールや情報機器の通信機能を使用したことによるトラブルは、「トラブルが起きたことはない」が92.3%で前回調査を15.8ポイント上回っています。(問8-2・省略)



■問8-3 (問8で「1. 利用している」と答えた方に)家の中での携帯電話やスマートフォンの使い方について、お子さんと決めている約束ごと等がありますか。  
(あてはまるものすべてに○)

家の中での携帯電話やスマートフォンの使い方子どもと決めている約束ごと等は、「使って良い時間数(何時間まで等)を決めている」、「アプリをダウンロードをするときは保護者に伝えると決めている」、「使って良い時間帯(夜は9時まで等)を決めている」、「使って良いアプリを決めている」が4割前後となっています。

子どもにインターネットの危険性を教えているのは86.3%で、前回調査を6.4ポイント上回っています。(問9・省略)

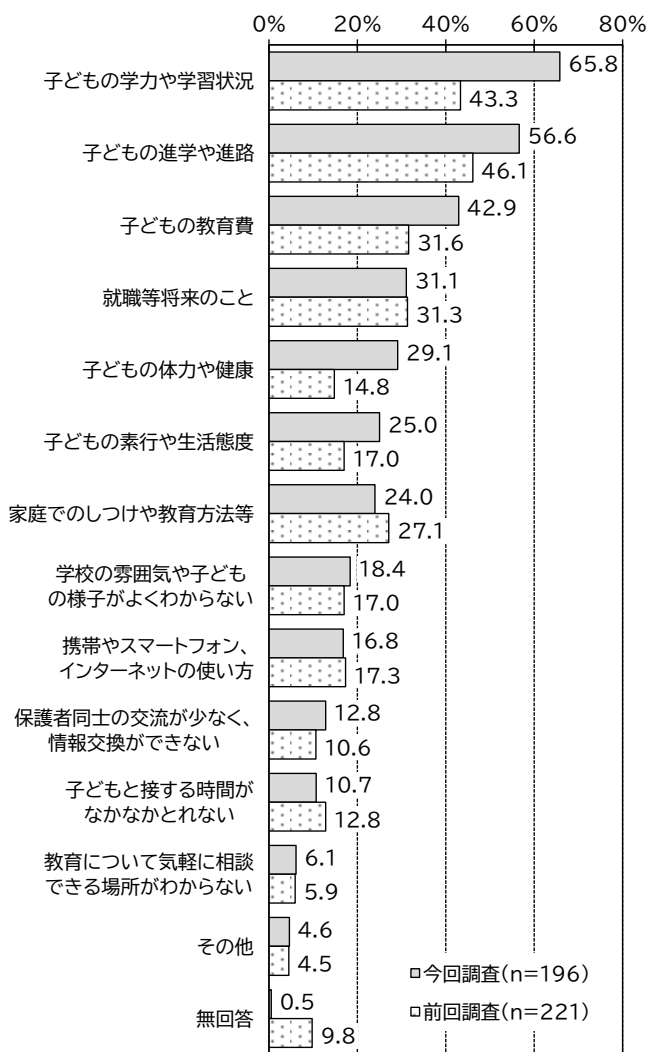


#### 4. 子育てについて

■問10-1 (問10で「1. 大いにある」と「2. 少しある」に回答した方に)子育てのどのようなことに対して不安を感じたり、心配したりすることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

子育ての不安が、「大いにある」、「少しある」と回答したのは76.9%で前回の74.3%からわずかに上昇しています。(問10・省略)

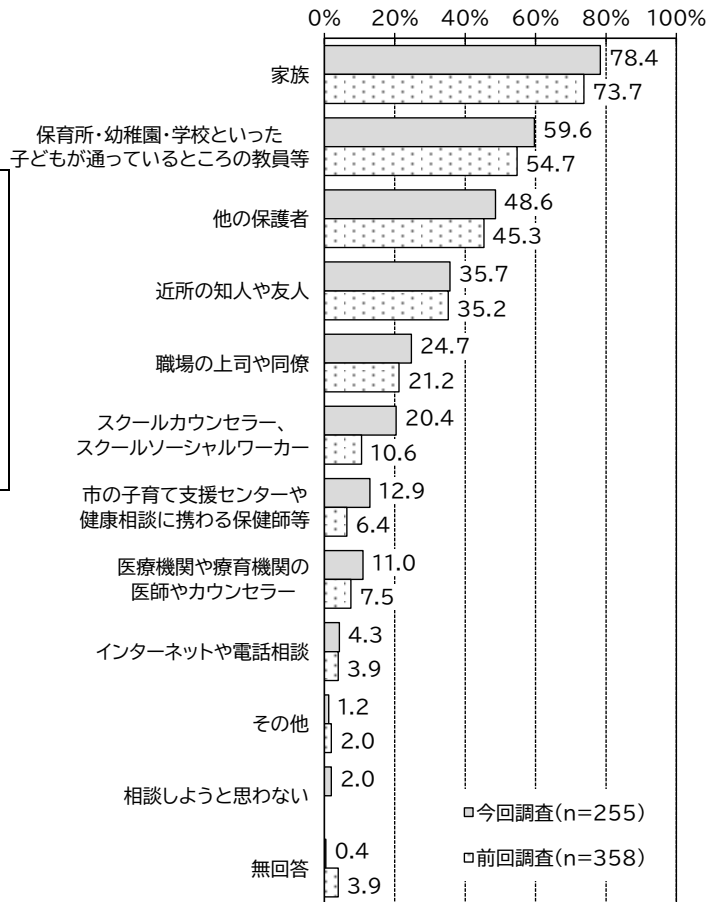
子育てへの不安や心配は、「子どもの学力や学習状況」、「子どもの進学や進路」、「子どもの教育費」の順に高く、いずれも前回調査を上回っています。





■問11 子どもの成長や学習、家庭や学校での生活等、子育てについての相談は、どのようなところ(人)にしたいと思えますか。(あてはまるものすべてに○)

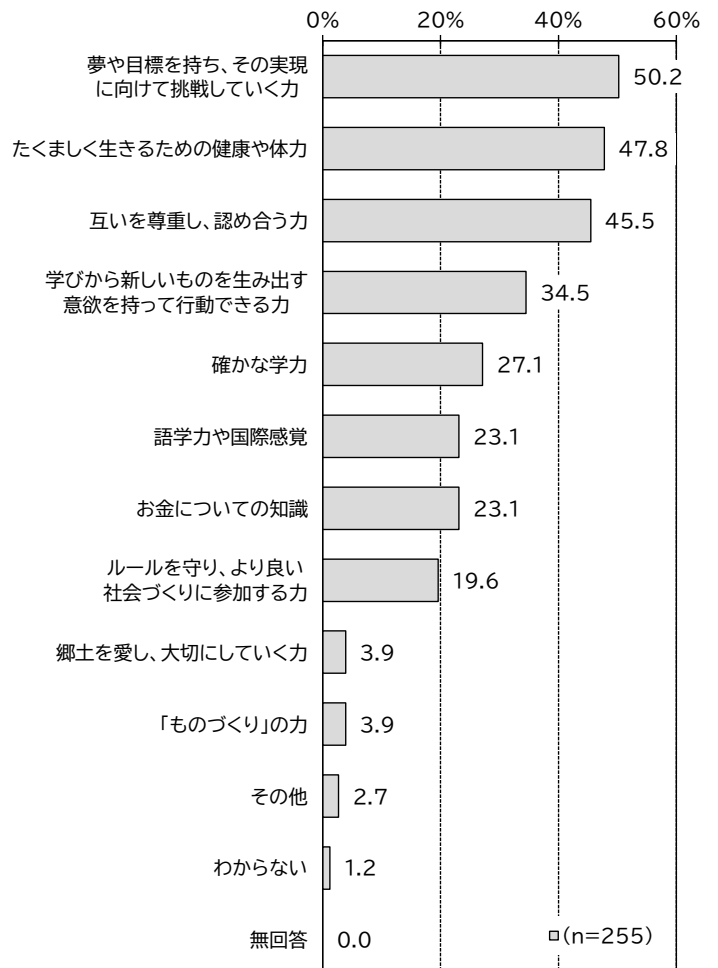
子育てについての相談先は、「家族」、「保育所・幼稚園・学校といった子どもが通っているところの教員等」、「他の保護者」の順で、いずれも前回調査を上回っています。また、「スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー」は前回調査を9.8ポイント上回っています。



5. 教育について

■問12 これからの社会を生きるために、子どもに特に必要と思う資質・能力は何だと思いますか。(3つまで○)

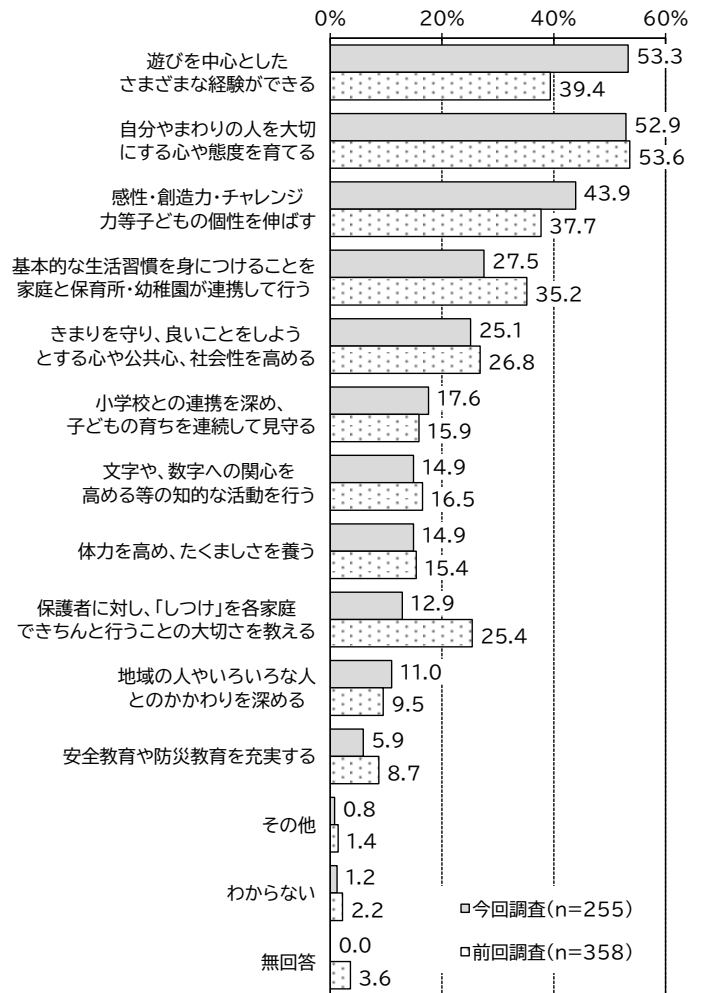
子どもに特に将来的に必要な資質・能力は、「夢や目標を持ち、その実現に向けて挑戦していく力」、「たくましく生きるための健康や体力」、「互いを尊重し、認め合う力」が上位にあげられています。



■問13 幼児教育(小学校入学前までの教育)において、これからどのようなことに力を入れてほしいと思いますか。(3つまで○)

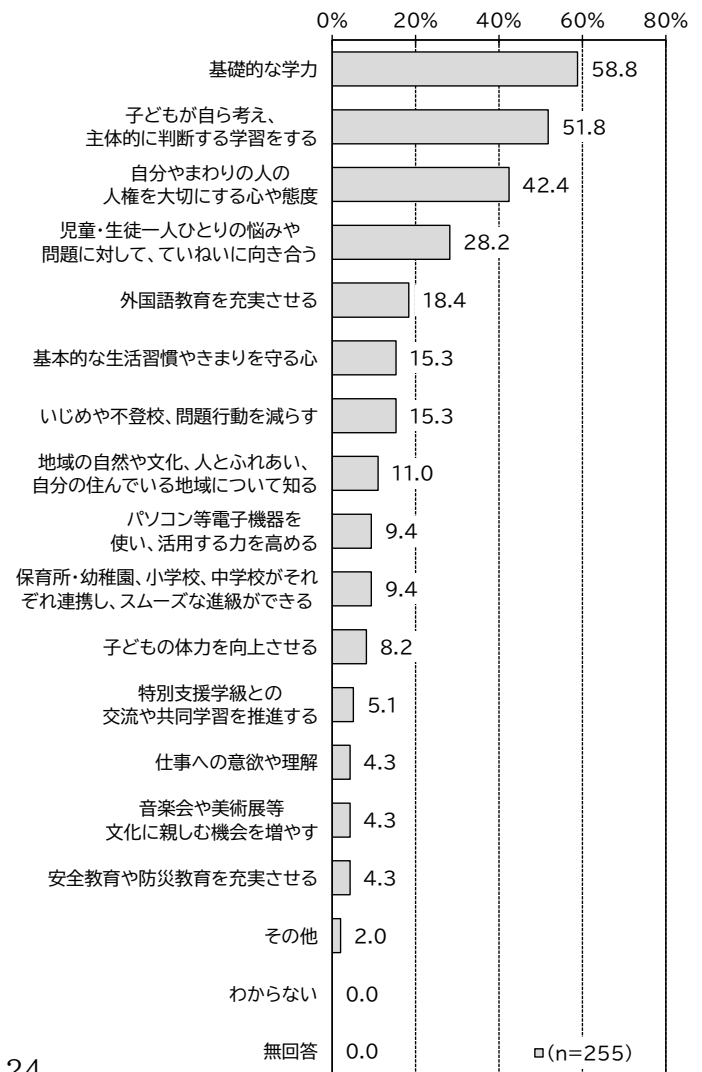
幼児教育において、これから力を入れてほしいことは、「遊びを中心としたさまざまな経験ができる」、「自分やまわりの人を大切に作る心や態度を育てる」が5割を超えています。

前回調査と比べると、「遊びを中心としたさまざまな経験ができる」は13.9ポイント上回っています。一方、「保護者に対し、『しつけ』を各家庭できちんと行うことの大切さを教える」は12.5ポイント下回っています。



■問14 小学校・中学校の教育において、これからどのようなことに力を入れてほしいと思いますか。(3つまで○)

小学校・中学校の教育において、これから力を入れてほしいことは、「基礎的な学力」「子どもが自ら考え、主体的に判断する学習をする」が5割を超えています。次いで「自分やまわりの人の人権を大切に作る心や態度」があげられています。

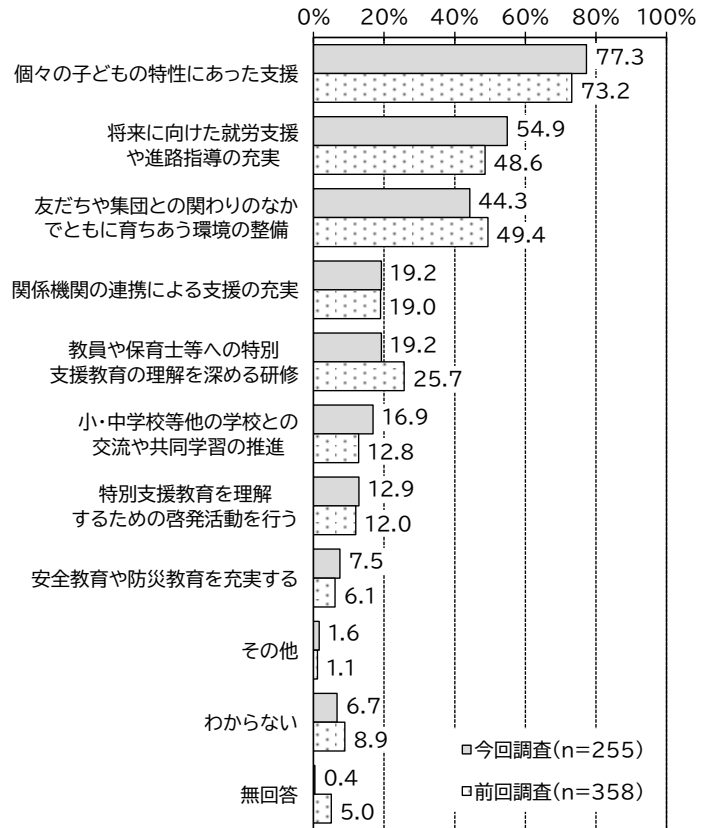


■問15 特別支援学校の教育において、これからどのようなことに力を入れてほしいと思いますか。(3つまで○)

特別支援学校の教育において、これから力を入れてほしいことは、「個々の子どもの特性にあった支援」が77.3%で最も高く、次いで「将来に向けた就労支援や進路指導の充実」が54.9%、「友だちや集団との関わりのなかでともに育ちあう環境の整備」が44.3%となっています。

前回調査と比べると、「将来に向けた就労支援や進路指導の充実」は6.3ポイント上回っています。一方、「教員や保育士等への特別支援教育の理解を深める研修」は6.5ポイント下回っています。

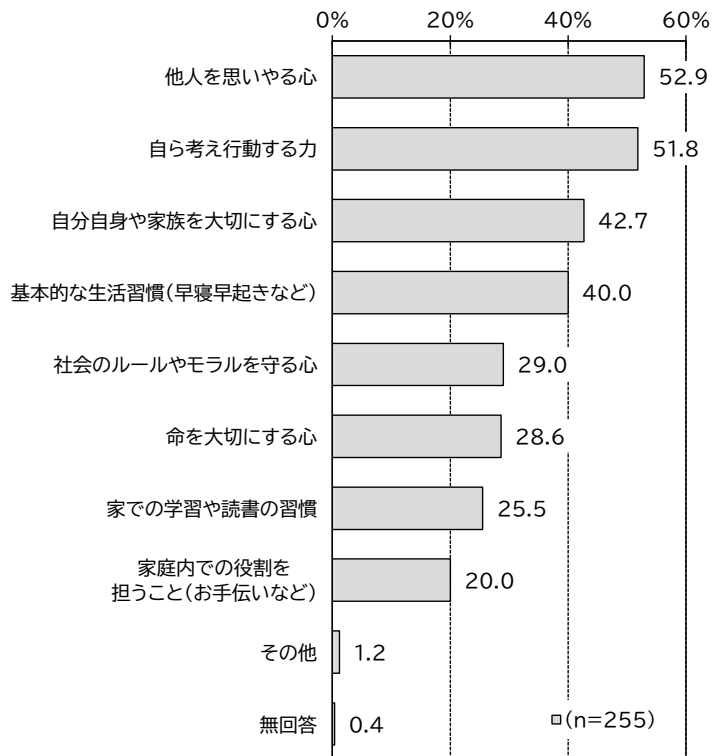
県立山田特別支援学校の行事や取組の認知度は、「知っている」(47.5%)よりも「知らない」(51.8%)の割合が高いものの、前回調査より9.0ポイント高くなっています。(問16・省略)



6. 家庭でのお子さんとのかかわりについて

■問18 あなたが、家庭生活においてお子さんに身につけてほしいことは何ですか。(3つまで○)

家庭生活において子どもに身につけてほしいことは、「他人を思いやる心」が52.9%で最も高く、次いで「自ら考え行動する力」が51.8%、「自分自身や家族を大切にすること」が42.7%、「基本的な生活習慣(早寝早起きなど)」が40.0%となっています。



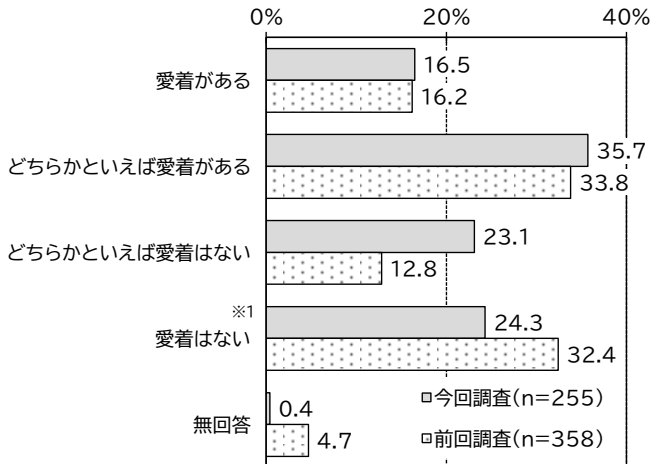
## 7. 教育と地域のかかわりについて

■問21 県立山田高等学校について、地域の高等学校として愛着はありますか。(1つに○)

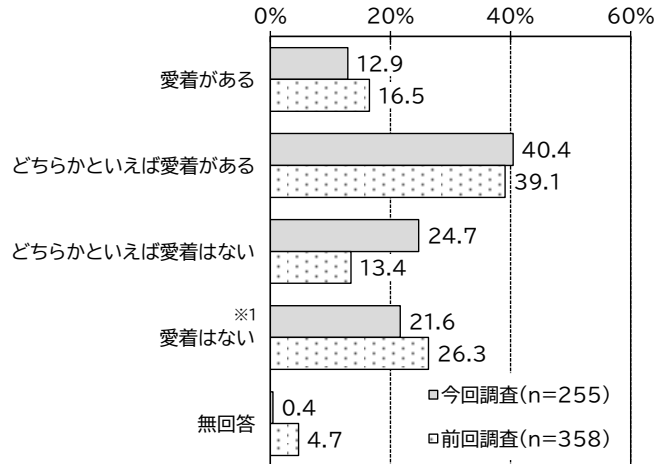
■問22 高知工科大学について、地域の大学として愛着はありますか。(1つに○)

県立山田高等学校への愛着は、「愛着がある」と「どちらかといえば愛着がある」を合わせた『愛着がある』が52.2%で、前回調査の50.0%をわずかに上回っていますが、大きく変化していません。  
高知工科大学に対しては、『愛着がある』が53.3%で、前回調査の55.6%を下回っています。

【県立山田高等学校】



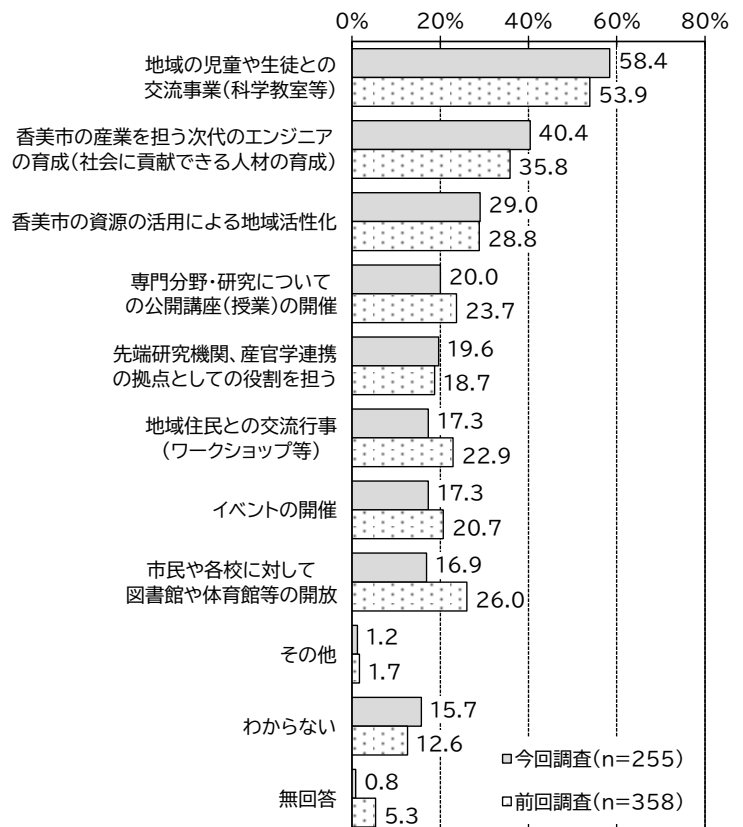
【高知工科大学】



※1 前回調査の選択肢は「あまり愛着はない」

■問23 高知工科大学の特性を活かし、香美市の教育と連携していくためには、高知工科大学に対し、どのようなことに力を入れてほしいと思いますか。(3つまで○)

高知工科大学に対して力を入れてほしいことは、「地域の児童や生徒との交流事業(科学教室等)」、「香美市の産業を担う次代のエンジニアの育成(社会に貢献できる人材の育成)」、「香美市の資源の活用による地域活性化」の順に高くなっており、上位の項目の回答割合は前回調査よりも高くなっています。

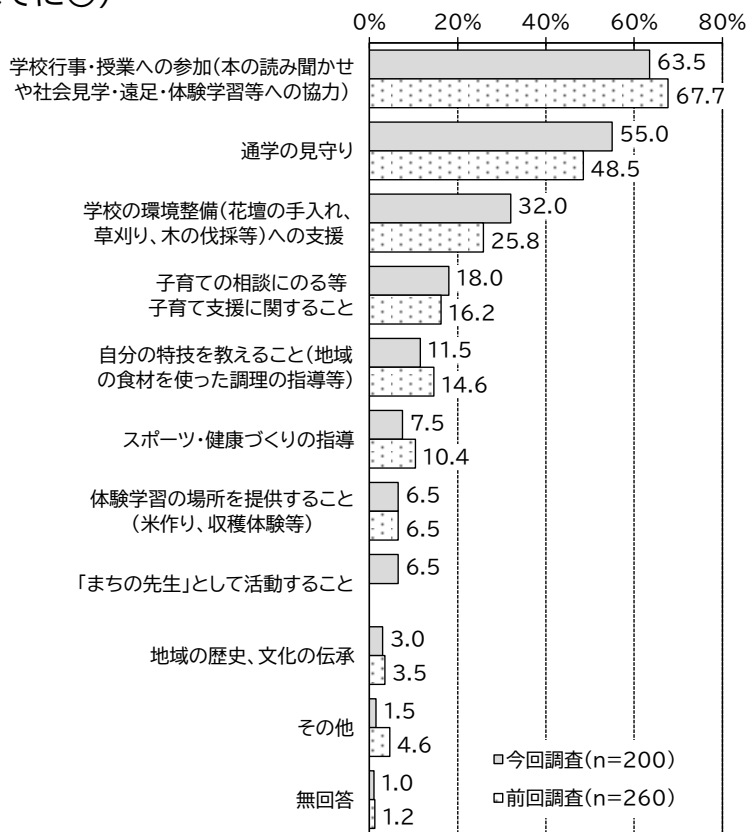


■問24-1 (問24で「1. はい」と答えた方に)あなたが教育に協力できること・したいことは次のどれですか。(あてはまるものすべてに○)

地域教育への協力意欲があるのは、78.4%で前回調査を5.8ポイント上回っています。(問24・省略)

協力できること・したいことは、「学校行事・授業への参加(本の読み聞かせや社会見学・遠足・体験学習等への協力)」、「通学の見守り」、「学校の環境整備(花壇の手入れ、草刈り、木の伐採等)への支援」の順となっており、「通学の見守り」、「学校の環境整備への支援」は前回調査を上回っています。

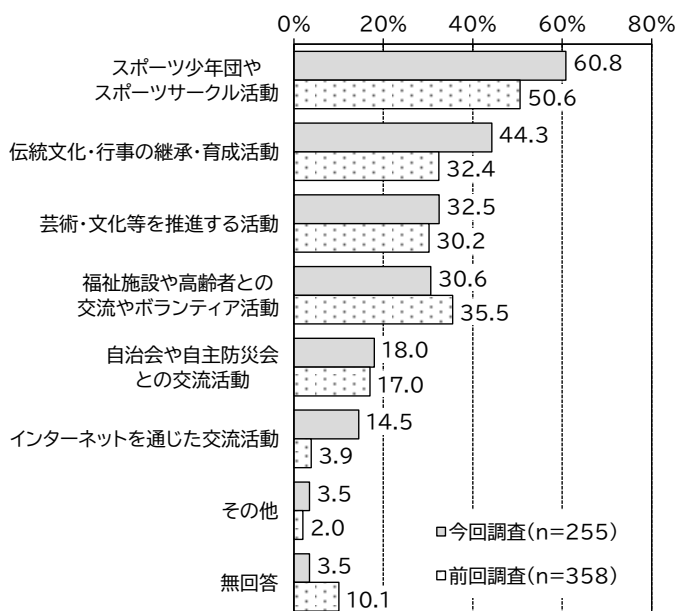
協力したいと思わない人の理由は、「仕事が忙しくて時間がない」(54.5%)、「家事・育児等が忙しくて時間がない」(40.0%)が高く、「どのような協力が必要なのか情報がない、または情報の入手の方法がわからない」と「人間関係がわずらわしい」がともに25.5%となっています。(問24-2・省略)



■問25 子どもにとって、地域の中でどのような活動があれば良いと思いますか。(3つまで○)

地域の中にあれば良い活動は、「スポーツ少年団やスポーツサークル活動」が60.8%で最も高く、次いで「伝統文化・行事の継承・育成活動」、「芸術・文化等を推進する活動」、「福祉施設や高齢者との交流やボランティア活動」となっています。

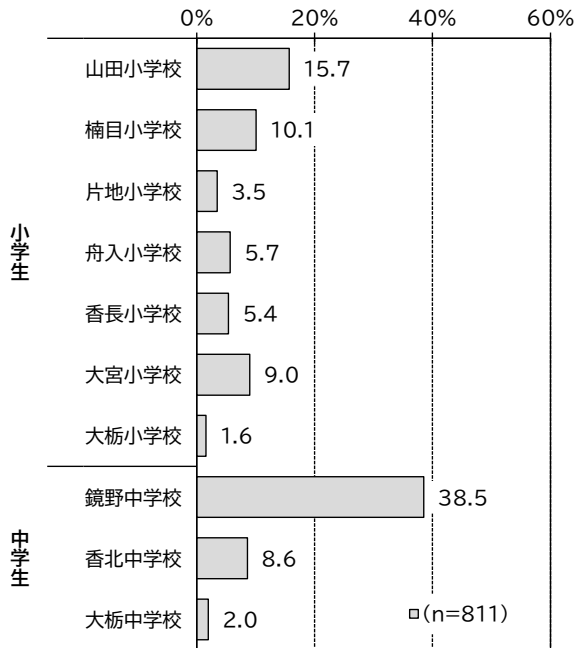
上位の2項目は前回調査を10ポイント以上上回っています。



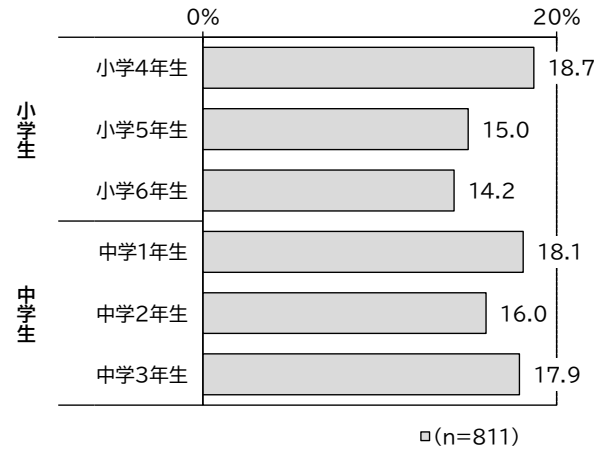
# IV 小中学生調査の結果

## 1. 回答者について

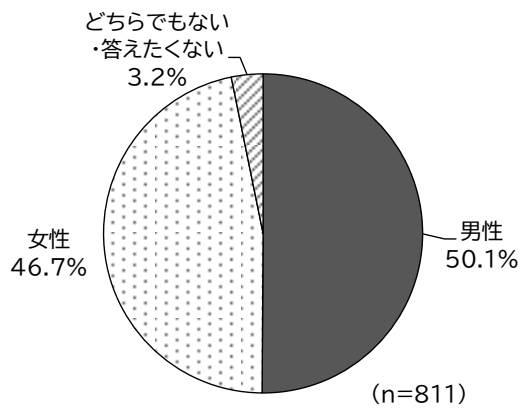
【通学している学校】



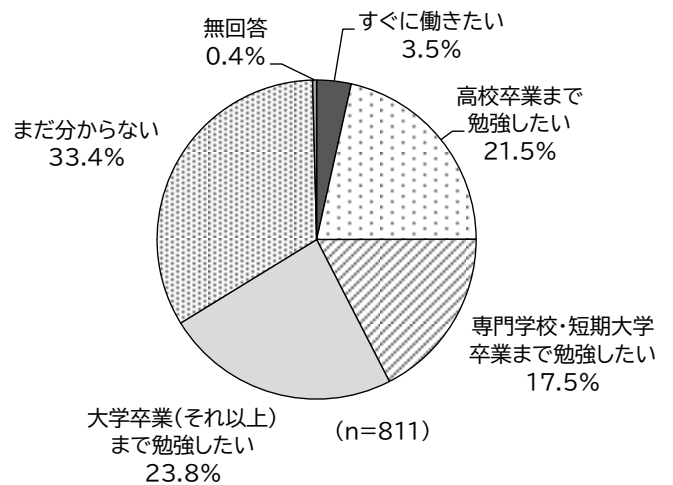
【学年】



【性別】



【中学校卒業後の進路についての考え】



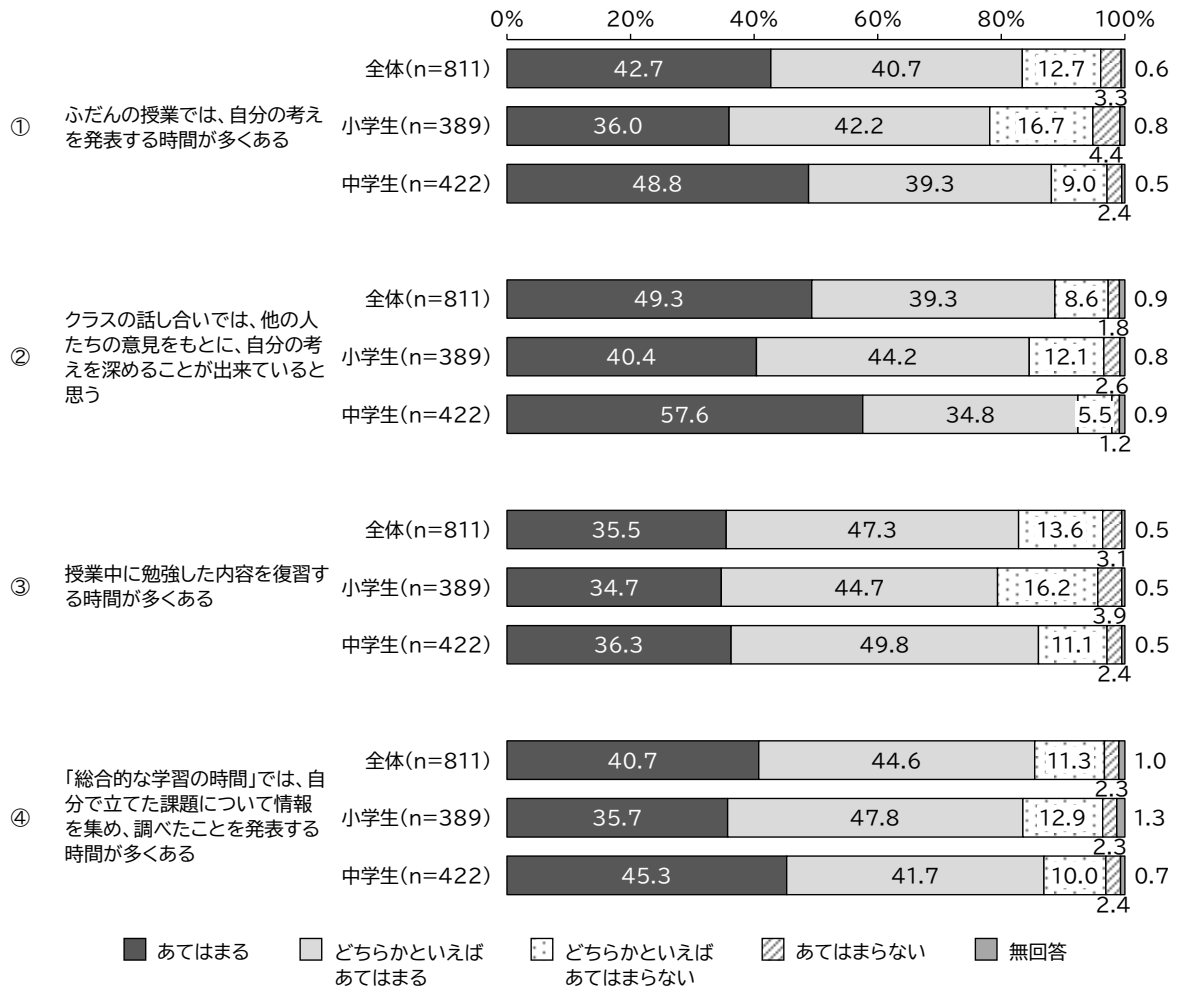
## 2. 学校生活について

### 問1 学校での取り組みについて、どう思いますか。

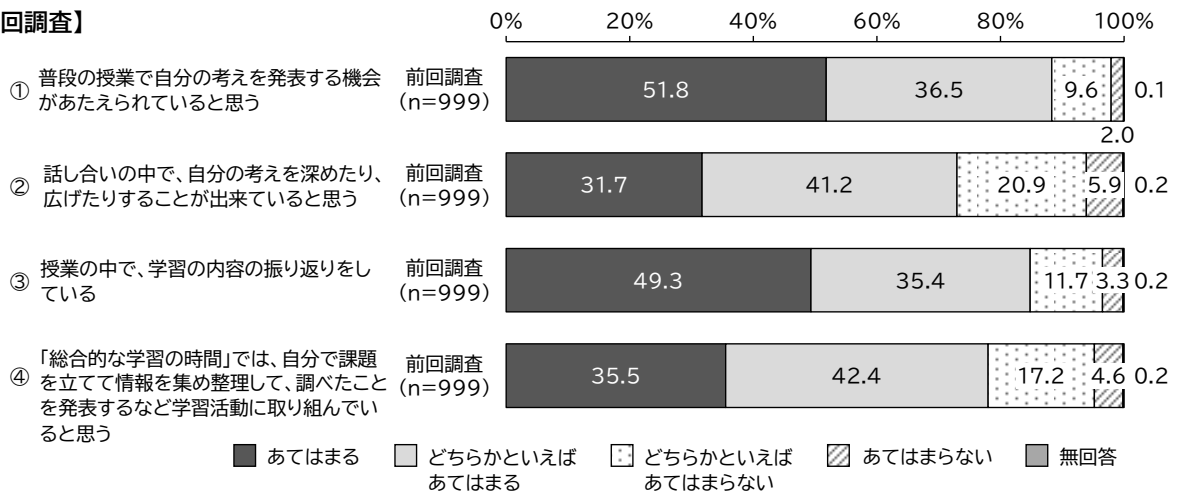
学校での取り組みについては、すべての項目で「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」を合わせた『あてはまる』が8割以上を占めており、「② クラスの話し合いでは、他の人たちの意見をもとに、自分の考えを深めることが出来ていると思う」で88.6%となっています。

前回調査と比べると、「② クラスの話し合いでは、他の人たちの意見をもとに、自分の考えを深めることが出来ていると思う」で『あてはまる』は15.7ポイント上回っています。

学年別では、すべての項目で『あてはまる』は中学生の方が小学生を上回っており、「① ふだんの授業では、自分の考えを発表する時間が多くある」で9.9ポイント上回っています。



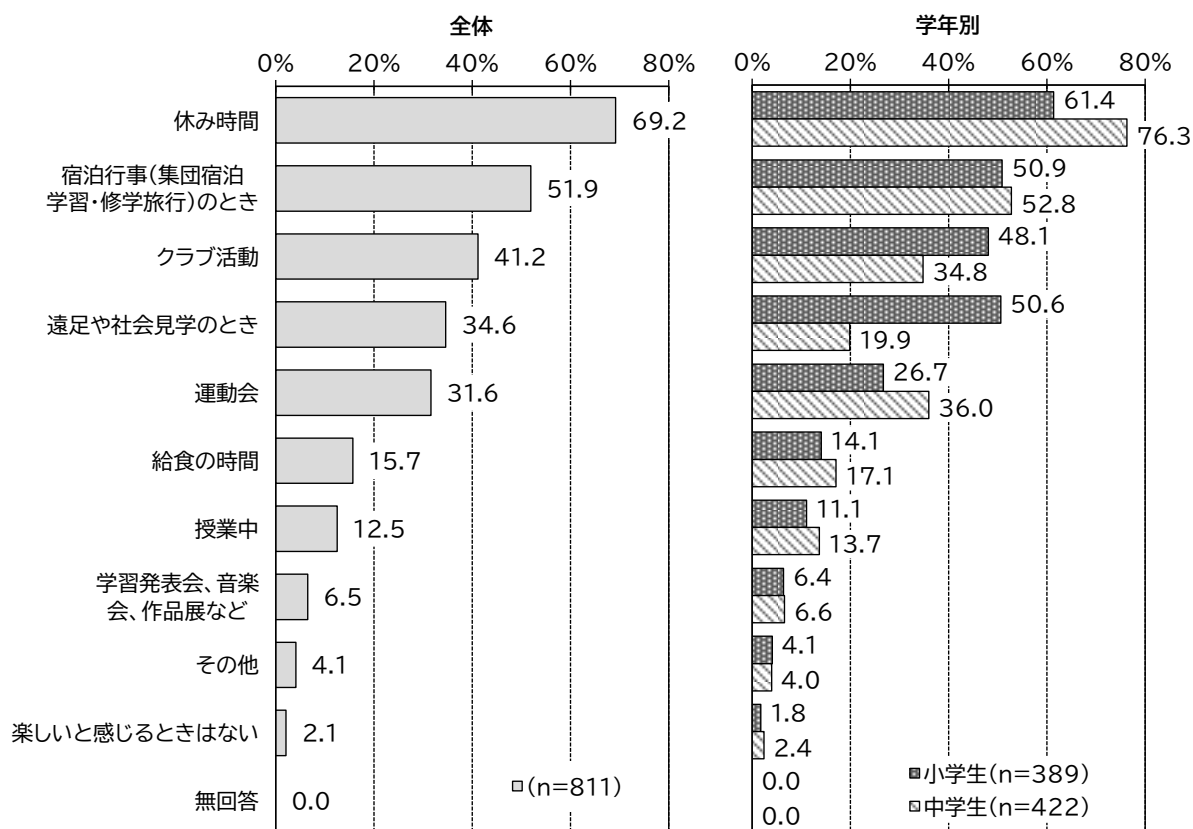
#### 【前回調査】



■問2 あなたは、学校でどんなときに楽しいと感じますか。  
 (特にあてはまるもの3つまで○)

学校での楽しいことは、「休み時間」が69.2%で最も高く、「宿泊行事(集団宿泊学習・修学旅行)のとき」、「クラブ活動」と続いています。

学年別では、「遠足や社会見学のととき」は小学生の方が中学生を30ポイント以上上回っている一方、「休み時間」は中学生の方が小学生を10ポイント以上上回っています。

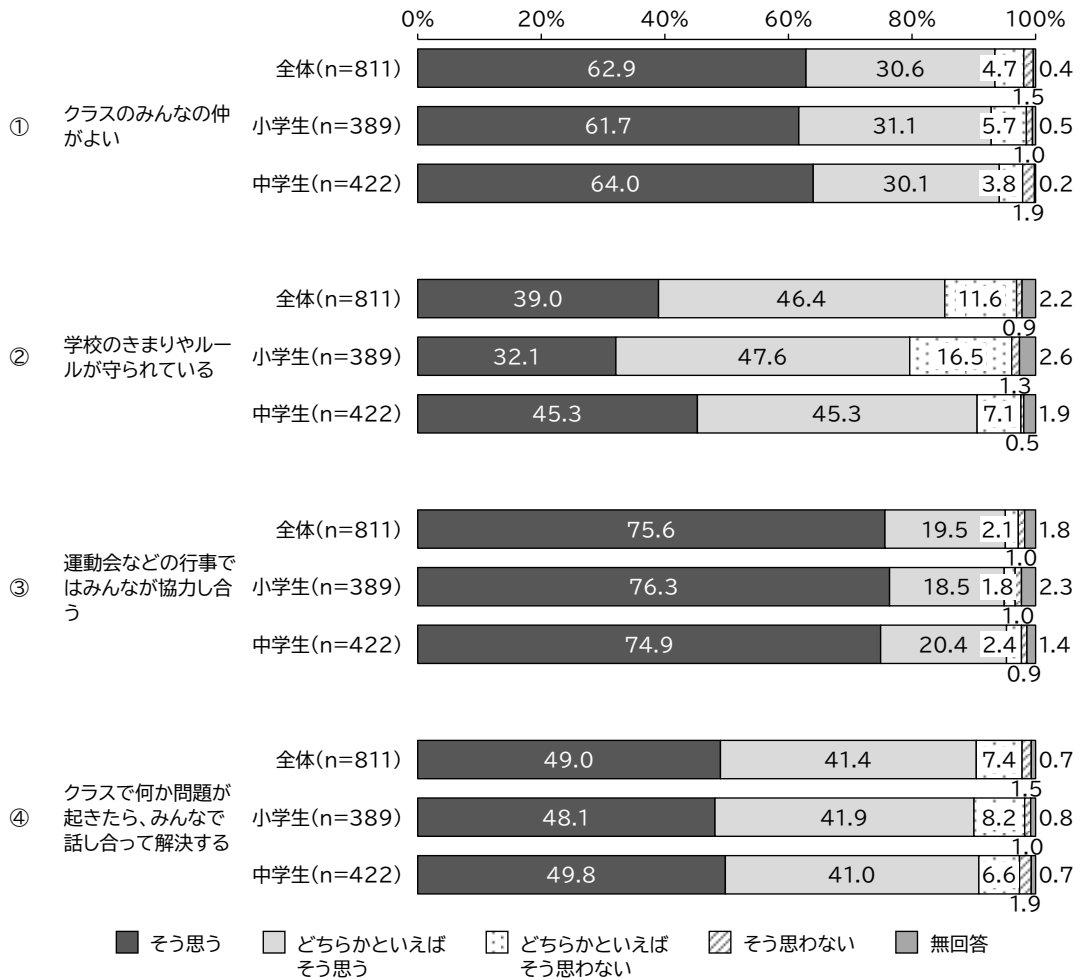




■問3 あなたのクラスは、どんなクラスだと思いますか。

クラスについては、すべての項目で、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』が8割以上を占めており、なかでも「③ 運動会などの行事ではみんなが協力し合う」は95.1%で特に高くなっています。

学年別では、「② 学校のきまりやルールが守られている」は、中学生が小学生より10ポイント以上上回っています。



### 3. 家庭での生活について

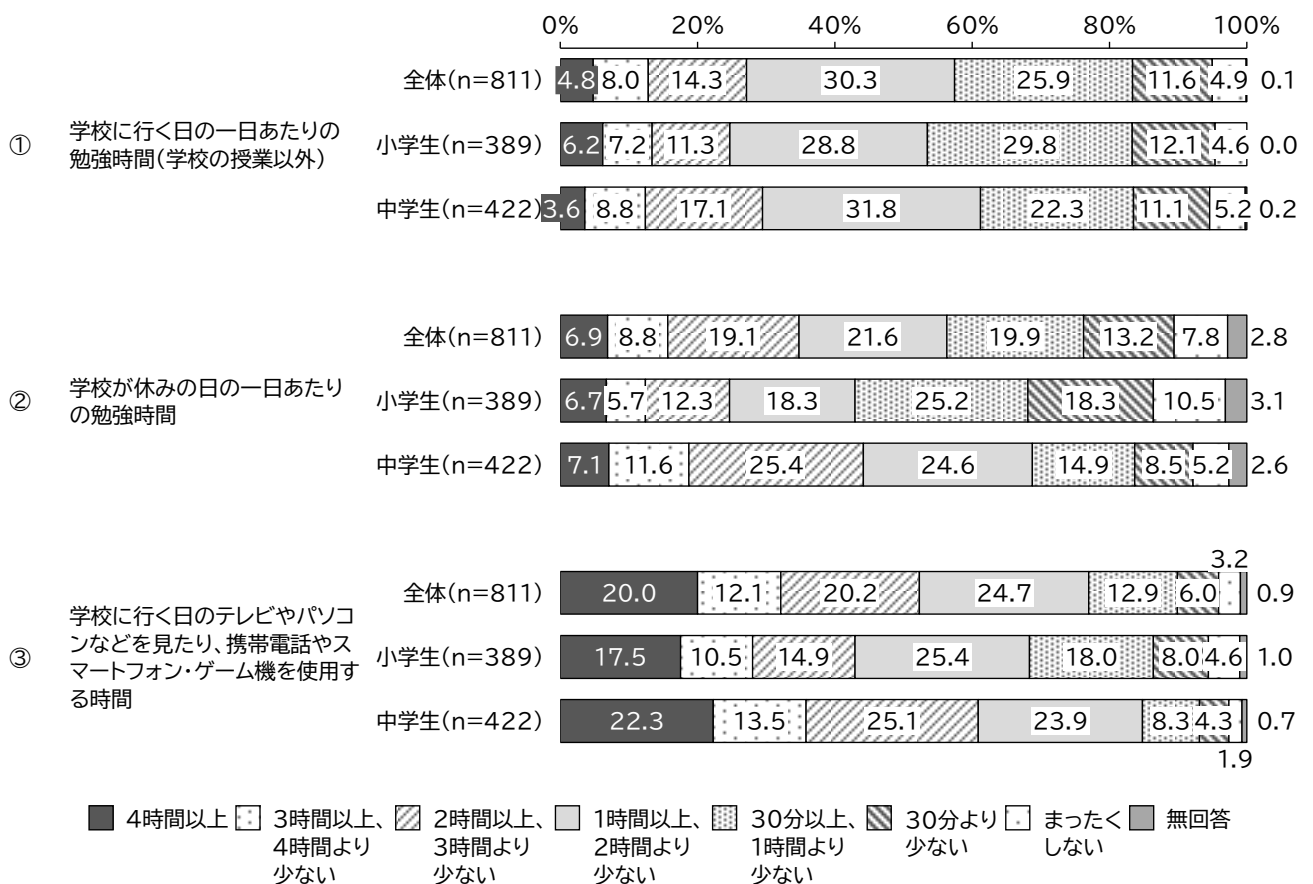
#### 問4 ふだん勉強したり遊んだりしている時間は、どのくらいですか。

勉強や遊びの時間は、「① 学校に行く日の一日あたりの勉強時間(学校の授業以外)」では、『1時間以上』が57.4%で半数を超えています。

「② 学校が休みの日の一日あたりの勉強時間」の『1時間以上』は56.4%で、学校に行く日とほとんど変わりません。

「③ 学校に行く日のテレビやパソコンなどを見たり、携帯電話やスマートフォン・ゲーム機を使用する時間」の『1時間以上』は77.0%で、そのうち「4時間以上」が20.0%と高くなっています。

学年別では、「① 学校に行く日の一日あたりの勉強時間(学校の授業以外)」に比べて、「② 学校が休みの日の一日あたりの勉強時間」と「③ 学校に行く日のテレビやパソコンなどを見たり、携帯電話やスマートフォン・ゲーム機を使用する時間」では、中学生の方が小学生より長い傾向が顕著にみられます。

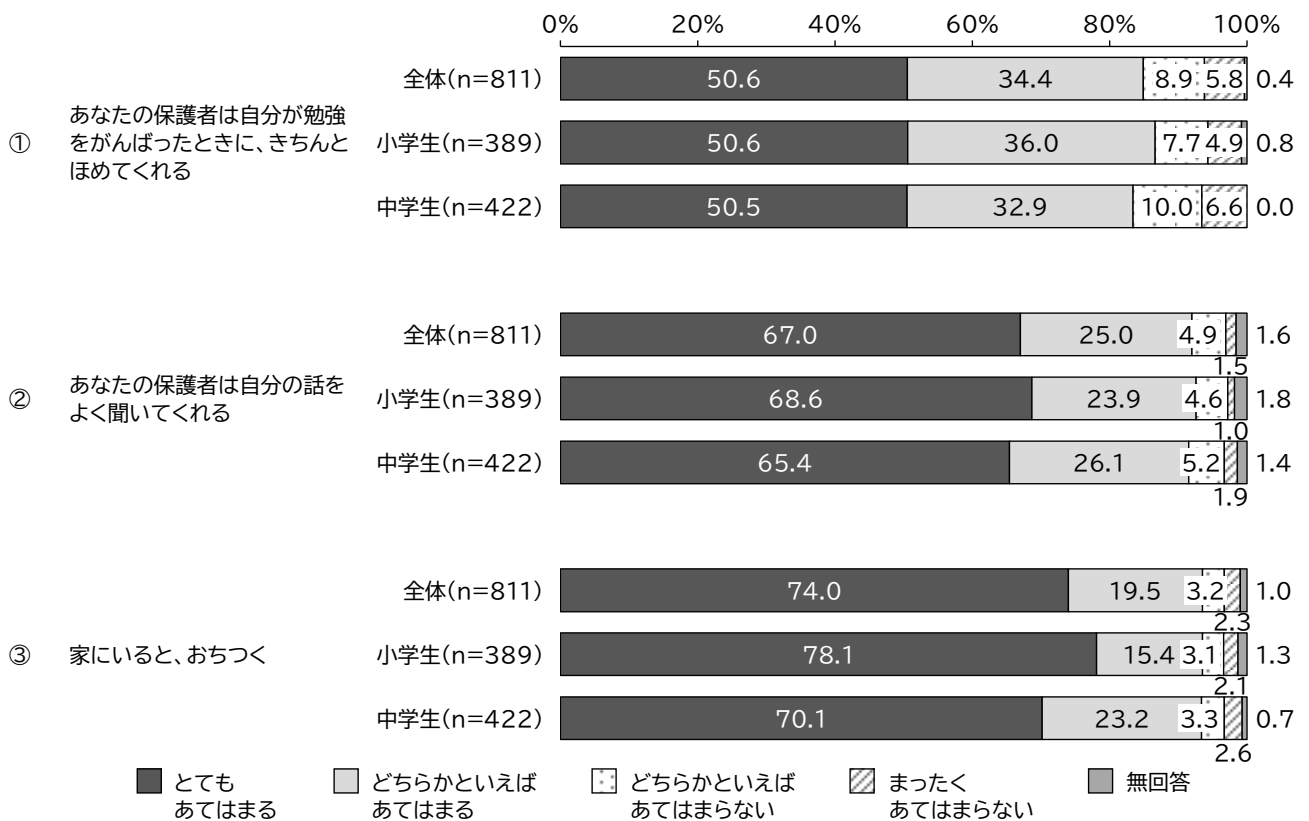


■問5 以下のことについて、あなたにはどのくらいあてはまりますか。

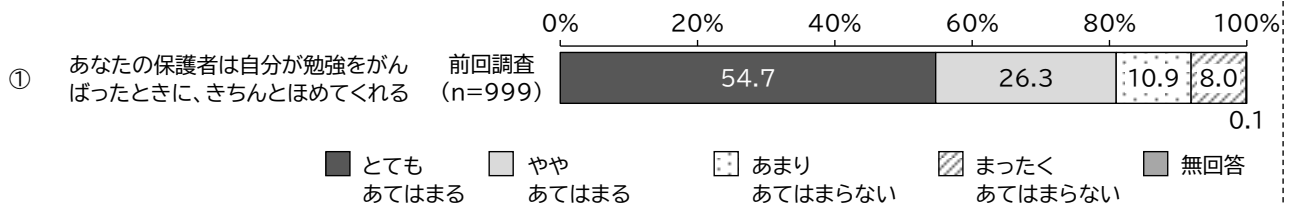
保護者や家のことは、「とてもあてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」を合わせた『あてはまる』は、「③ 家にいると、おちつく」で93.5%、「② あなたの保護者は自分の話をよく聞いてくれる」で92.0%と9割を超えているのに対して、「① あなたの保護者は自分が勉強をがんばったときに、きちんとほめてくれる」では85.0%でやや低くなっています。一方で、いずれの項目も「まったくあてはまらない」が少数ながら存在していることがわかります。

前回調査と比べると、「① あなたの保護者は自分が勉強をがんばったときに、きちんとほめてくれる」で、『あてはまる』は4.0ポイント上回っています。

学年別では、すべての項目で「とてもあてはまる」は小学生の方が中学生を上回っており、「③ 家にいると、おちつく」で8.0ポイント上回っています。



【前回調査】

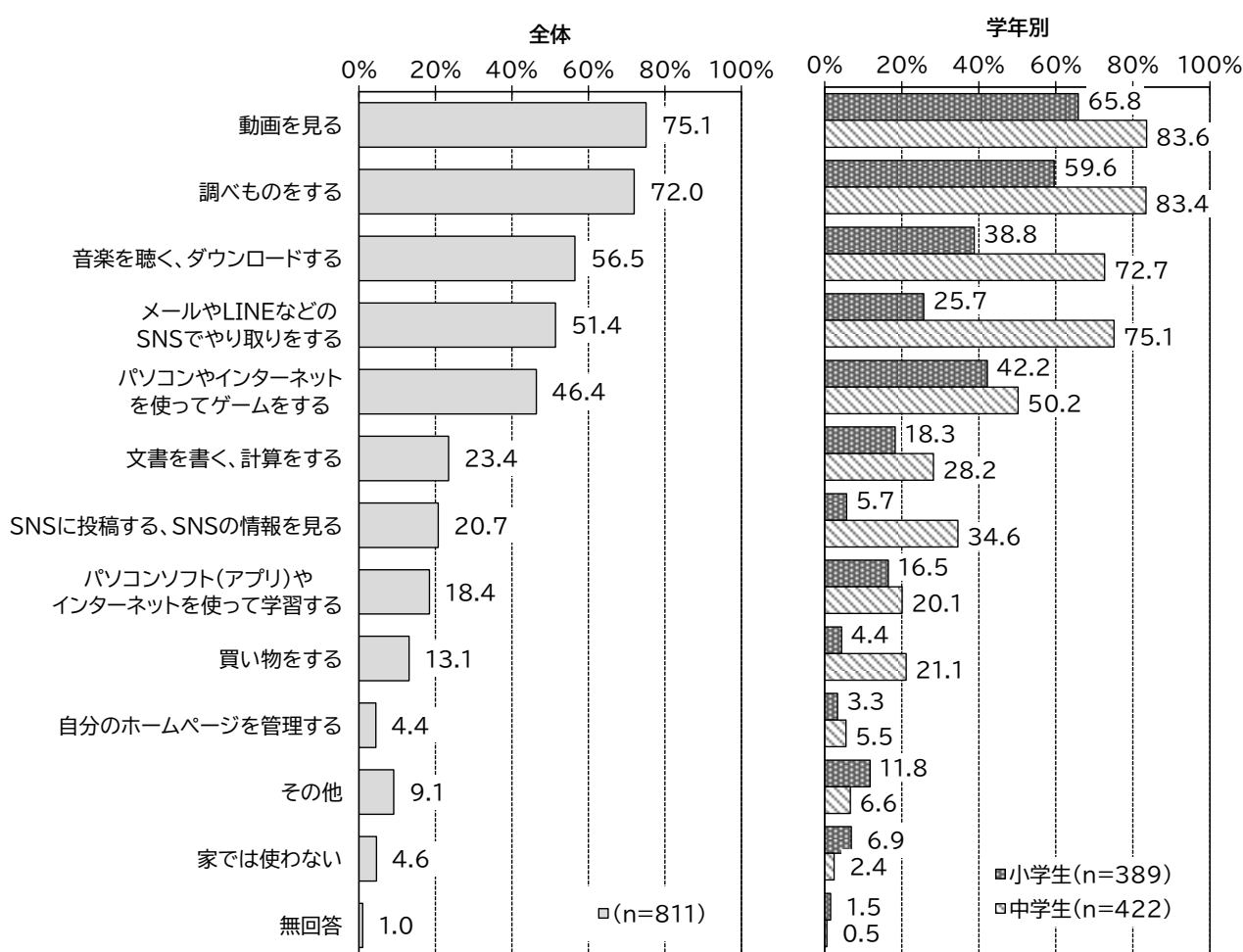


■問7 家にある携帯電話やスマートフォンやタブレット、パソコンなどを使って何をしていますか。(あてはまるものすべてに○)

自由に使える電子通信機器は、「携帯電話、スマートフォン」が62.9%で最も高く、「タブレット」(31.4%)、「その他」(23.8%)、「パソコン」(23.4%)と続き、「自由に使えるものはない」は13.2%です。前回調査と比べると、「携帯電話、スマートフォン」は今回調査が上回り、「パソコン」「タブレット」は下回っています。学年別では、中学生は「携帯電話、スマートフォン」が約8割で、小学生を大きく上回っています。一方、「その他」と「自由に使えるものはない」は小学生の方が高くなっています。(問6・省略)

電子通信機器の用途は、「動画を見る」、「調べものをする」が7割を超えて特に高く、「音楽を聴く、ダウンロードする」、「メールやLINEなどのSNSでやり取りをする」が5割を超えています。

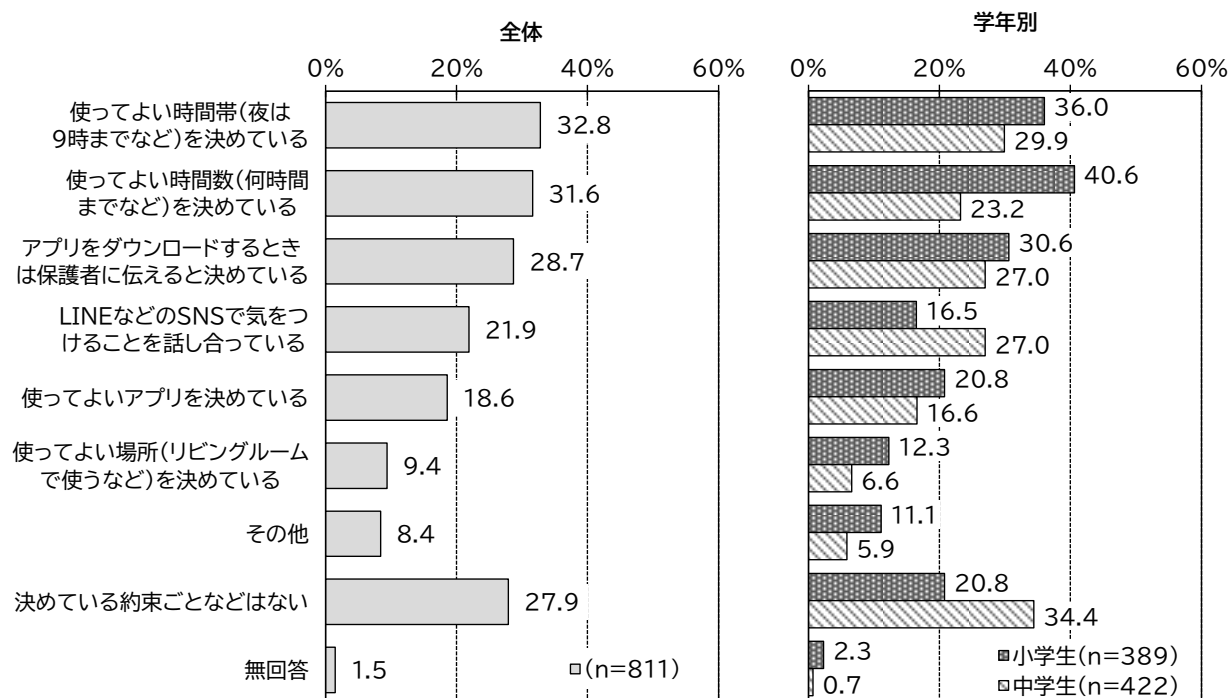
学年別では、中学生は上位の4項目はいずれも7割を超えて小学生より大幅に高くなっています。また、「SNSに投稿する、SNSの情報を見る」、「買い物をする」でも学年による差が顕著にみられます。



■問8 家の中での携帯電話やスマートフォンの使い方について、保護者と決めている約束ごとなどがありますか。(あてはまるものすべてに○)

電子通信機器を使う際の約束ごとは、「使ってよい時間帯(夜は9時までなど)を決めている」、「使ってよい時間数(何時間までなど)を決めている」、「アプリをダウンロードするときは保護者に伝えると決めている」が約3割で上位3項目にあげられている一方で、「決めている約束ごとなどはない」も3割近くとなっています。

学年別では、中学生では「LINEなどのSNSで気をつけることを話し合っている」以外の約束ごとをしている割合は低く、「決めている約束ごとなどはない」が小学生より10ポイント以上上回っています。



## 4. 地域について

■問9 山田高等学校について、地域の高校として愛着はありますか。(1つに○)

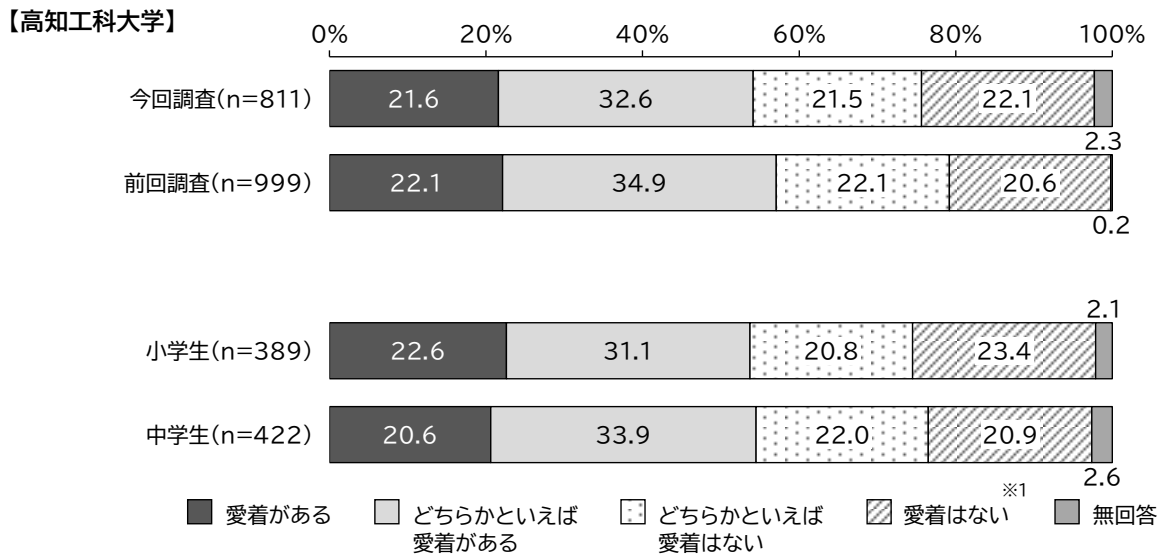
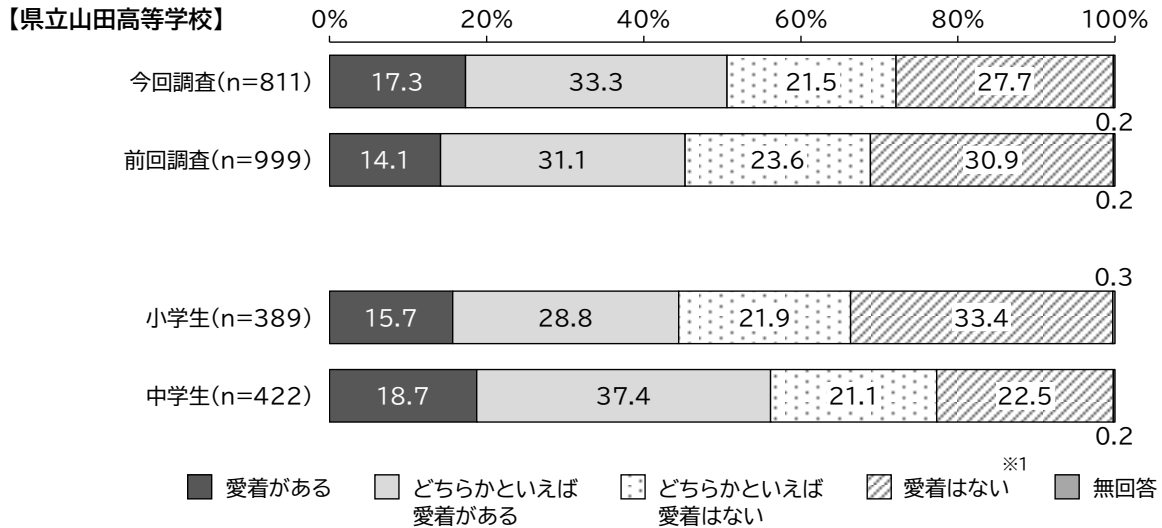
■問10 高知工科大学について、地域の大学として愛着はありますか。(1つに○)

山田高等学校は、「愛着がある」と「どちらかといえば愛着がある」を合わせた『愛着がある』が50.6%で、前回調査と比べると、5.4ポイント上回っています。

学年別では、『愛着がある』は中学生の方が小学生を10ポイント以上上回っています。

高知工科大学に対しては、『愛着がある』が54.2%で、前回調査をやや下回っています。

学年別では、小学生と中学生で大きな差はありません。



※1 前回調査の選択肢は「あまり愛着はない」

■問11 あなたは、地域の高校生や大学生と一緒にやってみたいことはありますか。(1つに○)

地域の高校生や大学生と一緒にやってみたいことが「ある」のは全体で25.2%、小学生は29.6%、中学生21.1%で、小学生の方が高くなっています。(図省略)

■問12 (小学生の人にお聞きします)あなたは、キッズチャレンジデイでの活動を通して、地域の大人を身近に感じたり、地域の良さを感じたりしましたか。(1つに○)

小学生がキッズチャレンジデイでの活動を通して、地域の大人を身近に感じたり、地域の良さを感じたりしたことは、「感じた」(40.9%)と「どちらかといえば感じた」(39.6%)を合わせた『感じた』が80.5%となっています。(図省略)

■問13 あなたは、大人になったら地域や社会のために役に立ちたいと思いますか。(1つに○)

大人になったら地域や社会のために役に立ちたいかは、「そう思う」(46.9%)と「どちらかといえばそう思う」(41.9%)を合わせた『そう思う』が88.8%となっています。学年別では、ほとんど差はありません。(図省略)

■問15 あなたは、学校が休みの日に香美市にある次のような施設を利用したいですか。(あてはまるものすべてに○)

休みの日に利用したい施設は、「図書館」、「体育館」が上位にあげられている一方で、「どれも利用したいと思わない」が2割を超えています。

学年別では、総じて小学生の方が利用したい施設が多い傾向がみられ、特に「図書館」が高くなっています。

